

首都圏中央連絡自動車道
つくば牛久 I C ～ 牛久阿見 I C 間附帯工工事

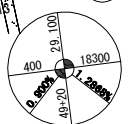
橋 梁 排 水

令和 7 年 12 月

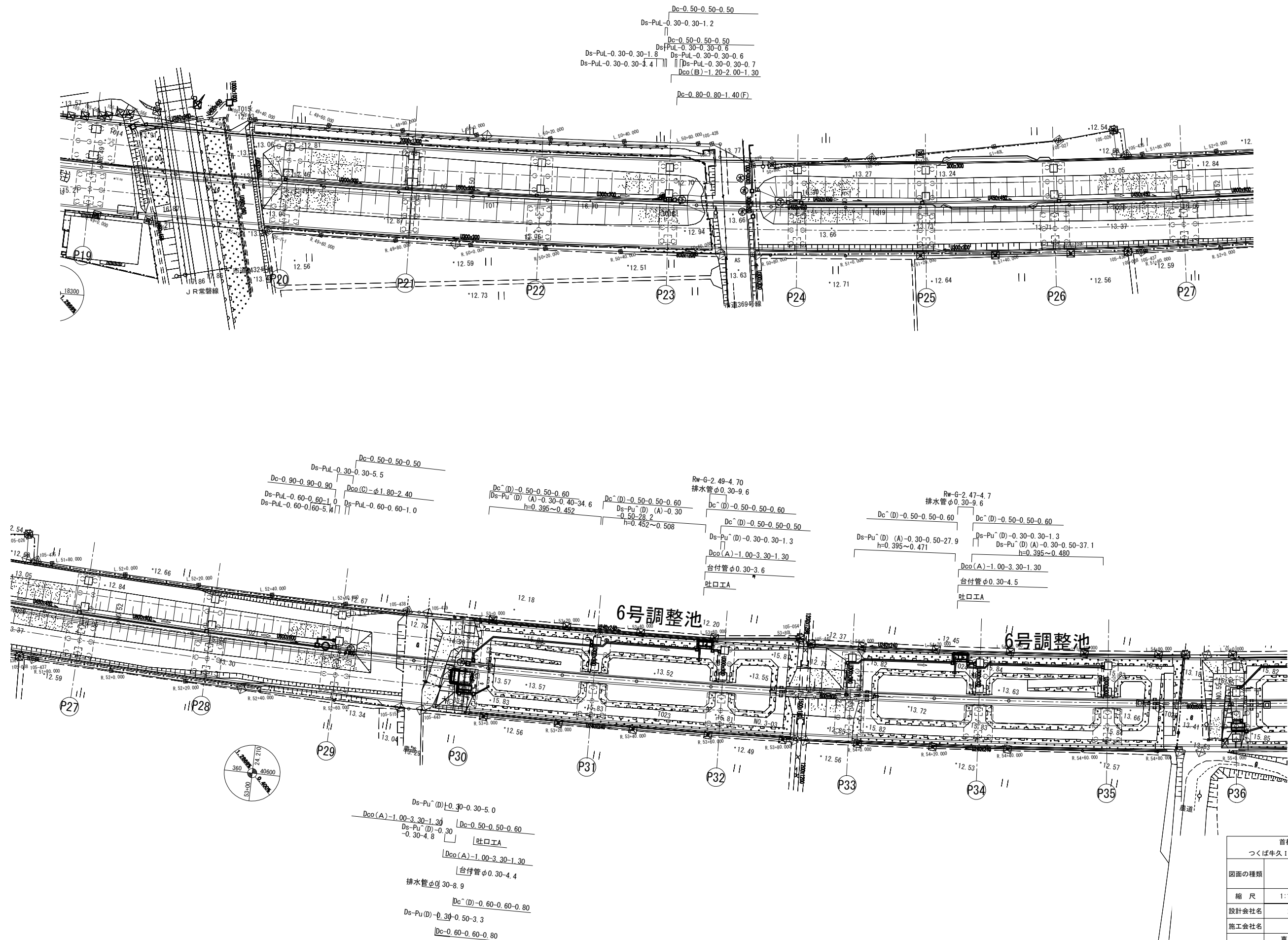
東日本高速道路株式会社 関東支社
つくば工事事務所

目 次

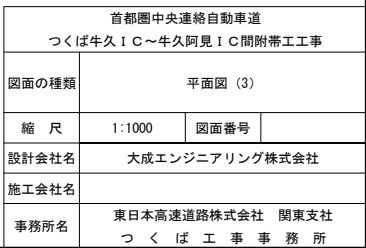
1. 平面図(1)～(3)	1
2. 横断図(1)～(2)	4
3. 用排水工詳細図(1)～(7)	6
4. 重力式擁壁工一般図(1)～(3)	13
5. のり面工	16
6. 下部工排水組立図(1)～(13)	17
7. 排水系統図(1)～(3)(参考図)	31
8. 撤去図(1)～(2)	34



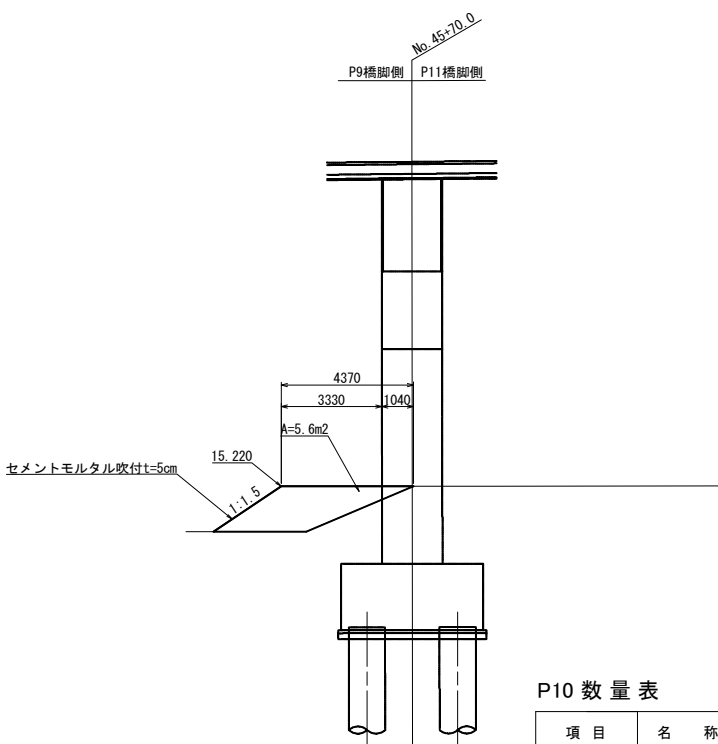
首都圏中央連絡自動車道 つくば久々IC～牛久阿見IC間附帯工事			
図面の種類	平面図 (1)		
縮尺	1:1000	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		



首都圏中央連絡自動車道 つくば牛久1C～牛久阿見1C間附帯工工事	
図面の種類	平面図(2)
縮尺	1:1000 図面番号
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工務事務所



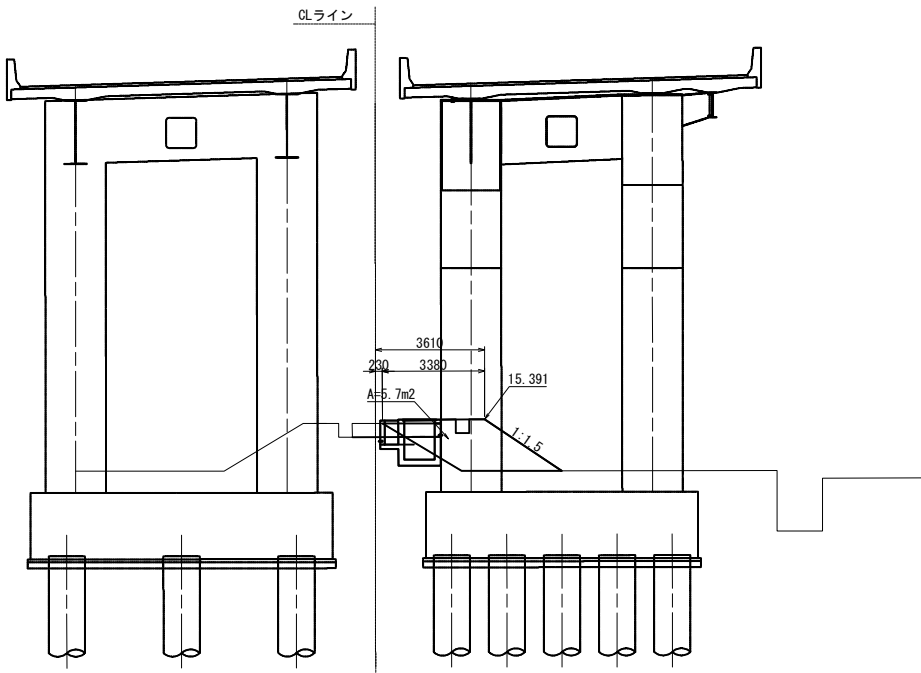
P10 橋脚



P10 数量表

項目	名 称	単 位	数 量	摘要
復旧工	築堤復旧	m3	27.2	

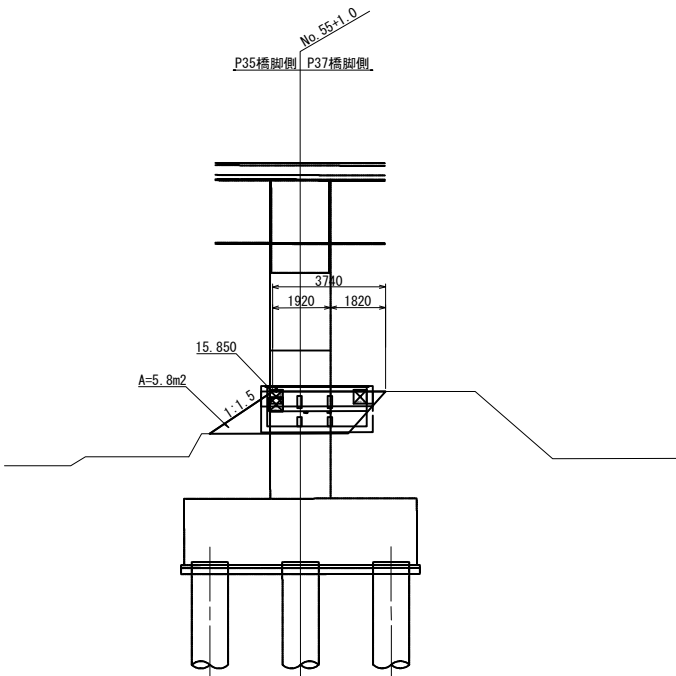
P12 橋脚



P12 数量表

項目	名 称	単 位	数 量	摘要
復旧工	築堤復旧	m3	45.7	

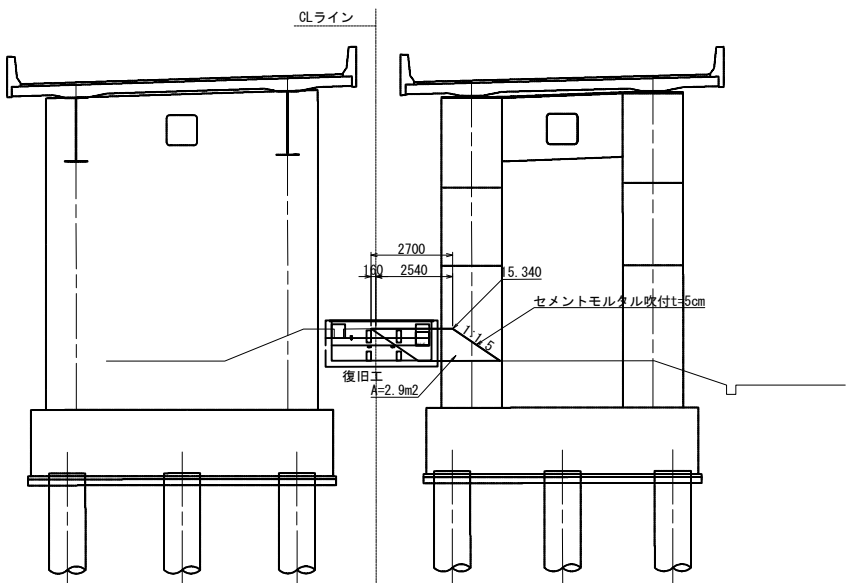
P36 橋脚



P36 数量表

項目	名 称	単 位	数 量	摘要
復旧工	築堤復旧	m3	48.4	

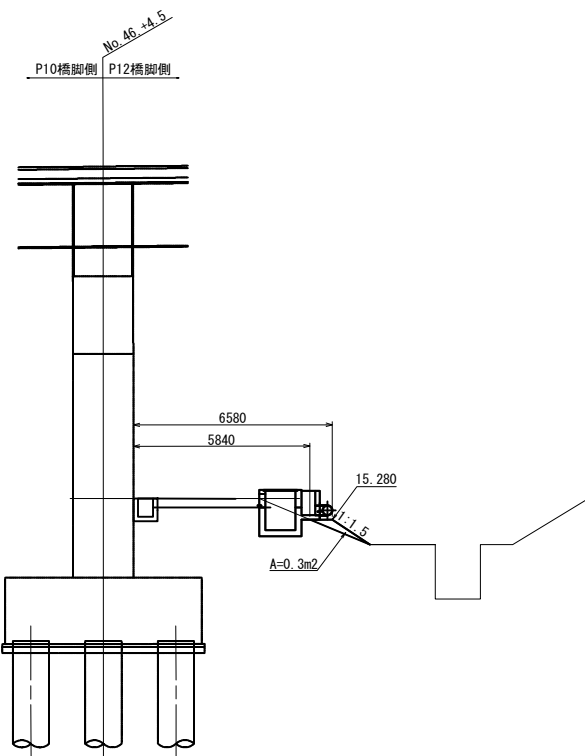
P3 橋脚



P3 数量表

項目	名 称	単 位	数 量	摘要
復旧工	築堤復旧	m3	17.4	

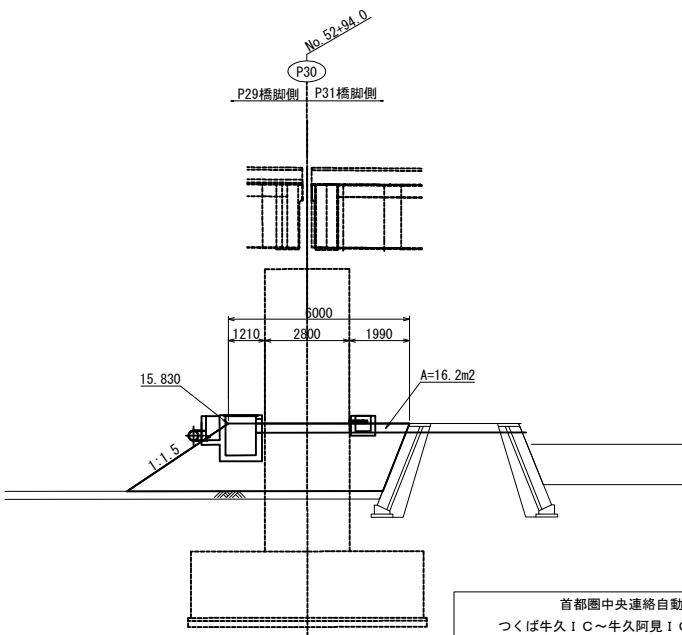
P11 橋脚



P11 数量表

項目	名 称	単 位	数 量	摘要
復旧工	築堤復旧	m3	1.4	

P30 橋脚

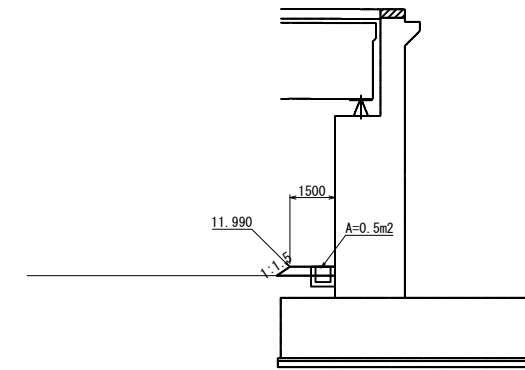


P30 数量表

項目	名 称	単 位	数 量	摘要
復旧工	築堤復旧	m3	114.8	

首都圏中央連絡自動車道 つくば牛久IC～牛久阿見IC間附帯工事			
図面の種類	橋梁排水	横断図(1)	
縮 尺	1:125	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工務所		

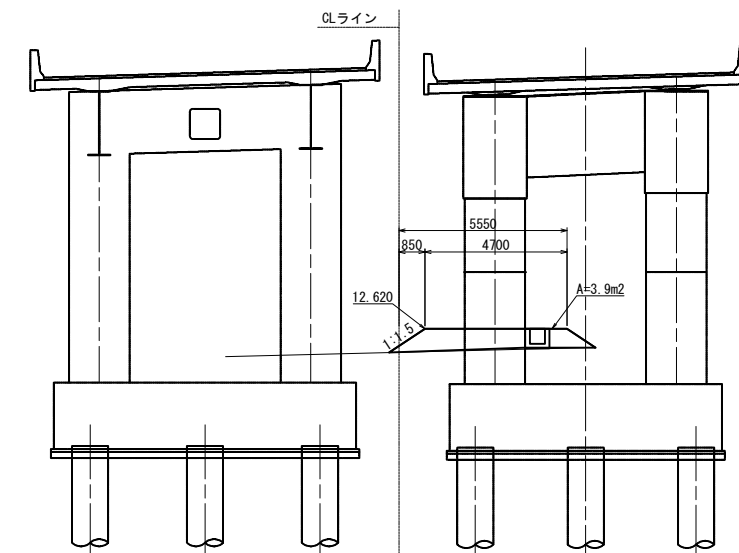
A2 橋 台



A2 数量表

工 種	名 稱	單 位	數 量	摘要
復旧工	築堤復旧	m3	7.3	

P51 橋 脚



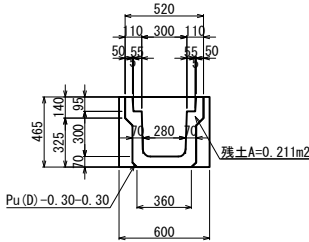
P51 数量表

工 種	名 稱	單 位	數 量	摘要
復旧工	築堤復旧	m3	34.6	

首都圏中央連絡自動車道 つくば久 I C ～ 牛久阿見 I C 間附帯工事			
図面の種類	橋梁排水 横 断 図 (2)		
縮 尺	1:125	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事務所		

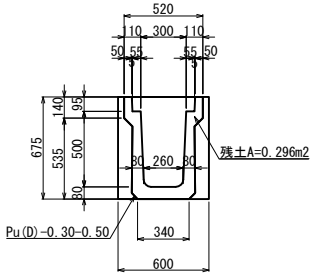
用排水工詳細図(1)

Ds-Pu(D)-0.30-0.30



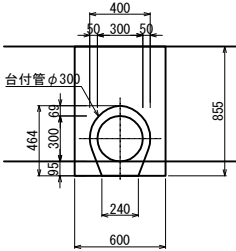
材料表 10m当り				
項 目	細 目	単 位	数 量	摘 要
構造物掘削	普通部	m3	2.79	
埋戻し	A2	m3	0.68	
残土		m3	2.11	
Pu(D)-0.30-0.30		個	16.7	

Ds-Pu(D)-0.30-0.50



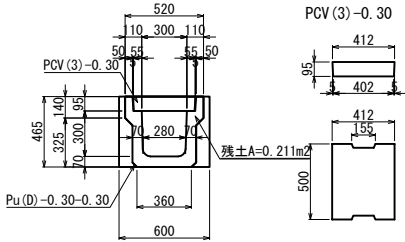
材料表 10m当り				
項 目	細 目	単 位	数 量	摘 要
構造物掘削	普通部	m3	4.05	
埋戻し	A2	m3	1.09	
残土		m3	2.96	
Pu(D)-0.30-0.50		個	16.7	

台付管φ300



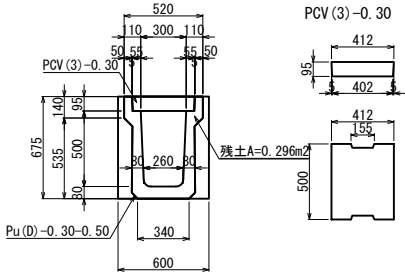
材料表 10m当り				
項 目	細 目	単 位	数 量	摘 要
構造物掘削	普通部	m3	3.65	
埋戻し	A2	m3	2.17	
残土		m3	1.48	
台付管φ300		個	5	

Ds-Pu^(D)-0.30-0.30



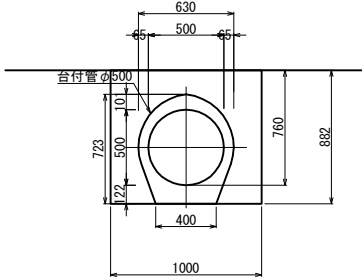
材料表 10m当り				
項 目	細 目	単 位	数 量	摘 要
構造物掘削	普通部	m3	2.79	
埋戻し	A2	m3	0.68	
残土		m3	2.11	
Pu(D)-0.30-0.30		個	16.7	
PCV(3)-0.30		枚	20	

Ds-Pu^(D)-0.30-0.50



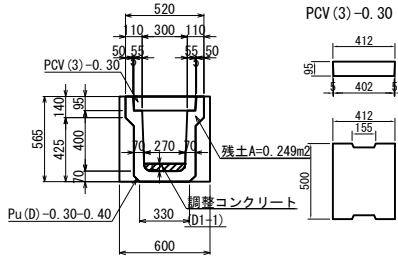
材料表 10m当り				
項 目	細 目	単 位	数 量	摘 要
構造物掘削	普通部	m3	4.05	
埋戻し	A2	m3	1.09	
残土		m3	2.96	
Pu(D)-0.30-0.50		個	16.7	
PCV(3)-0.30		枚	20	

台付管φ500



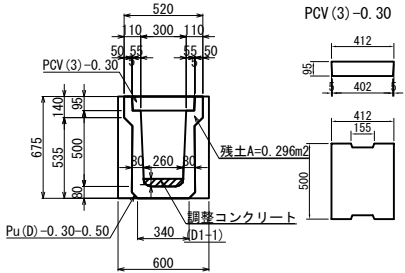
材料表 10m当り				
項 目	細 目	単 位	数 量	摘 要
構造物掘削	普通部	m3	5.15	
埋戻し	A2	m3	1.48	
残土		m3	3.67	
台付管φ500		個	5	

Ds-Pu^(D)(A)-0.30-0.40



材料表 10m当り				
項 目	細 目	単 位	数 量	摘 要
構造物掘削	普通部	m3	3.39	
埋戻し	A2	m3	0.90	
残土		m3	2.49	
Pu(D)-0.30-0.40		個	16.7	
PCV(3)-0.30		枚	20	
調整コンクリート	D1-1	m3	0.20	

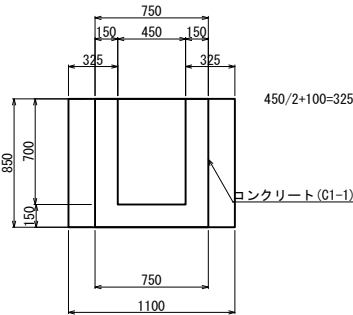
Ds-Pu^(D)(A)-0.30-0.50



材料表 10m当り				
項 目	細 目	単 位	数 量	摘 要
構造物掘削	普通部	m3	4.05	
埋戻し	A2	m3	1.09	
残土		m3	2.96	
Pu(D)-0.30-0.50		個	16.7	
PCV(3)-0.30		枚	20	
調整コンクリート	D1-1	m3	0.40	

Ds-U-0.45-0.70

牛久-P16

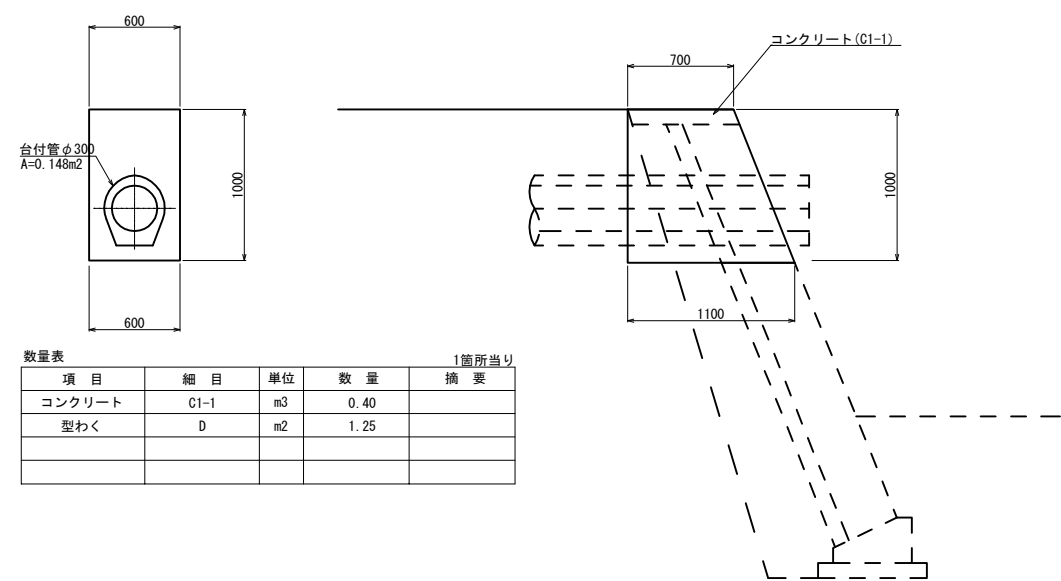


材料表 10m当り				
項 目	細 目	単 位	数 量	摘 要
構造物掘削	普通部	m3	9.35	
埋戻し	A2	m3	2.98	
コンクリート	C1-1	m3	3.23	
型わく	D	m2	31.00	

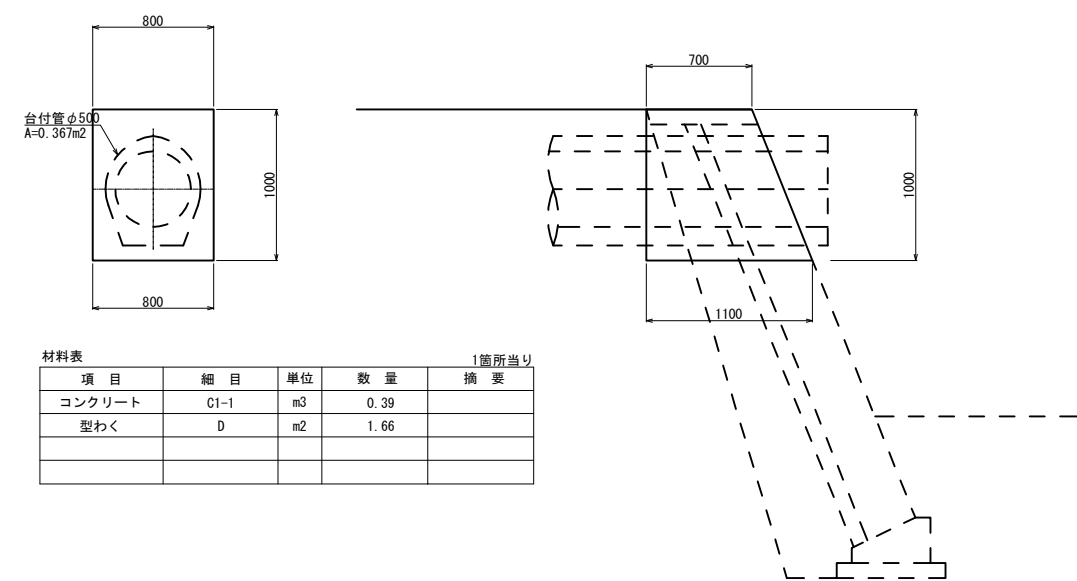
首都圏中央連絡自動車道 つくば牛久IC～牛久阿見IC間附帯工工事		
図面の種類	橋梁排水 用排水工詳細図(1)	
縮 尺	1:50	図面番号
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所	

用排水工詳細図(2)

吐口工A (φ 300)

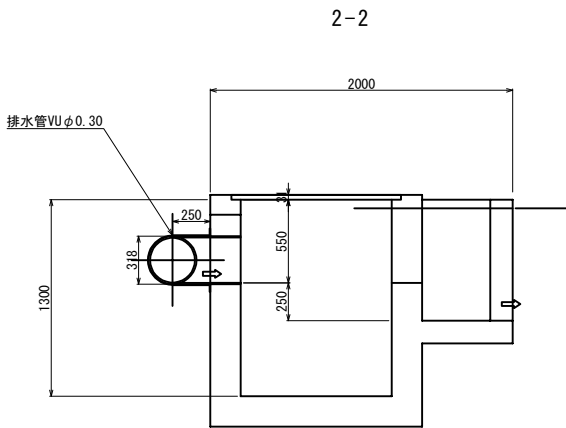
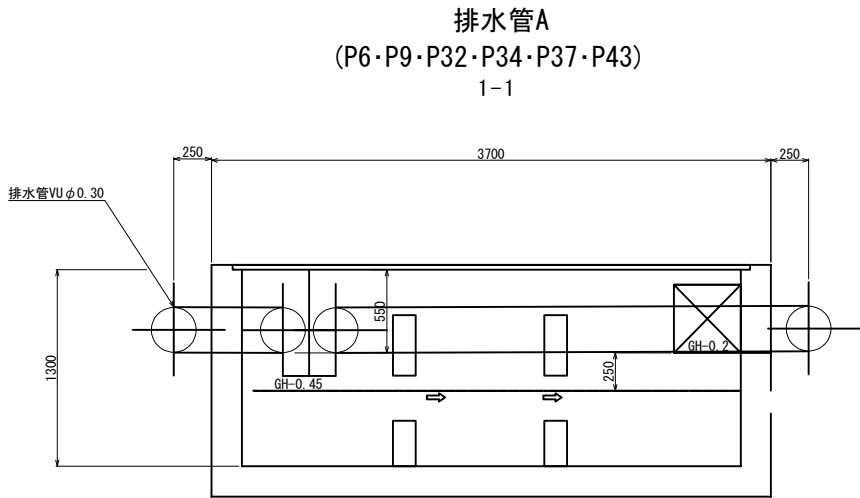


吐口工B (φ 500)

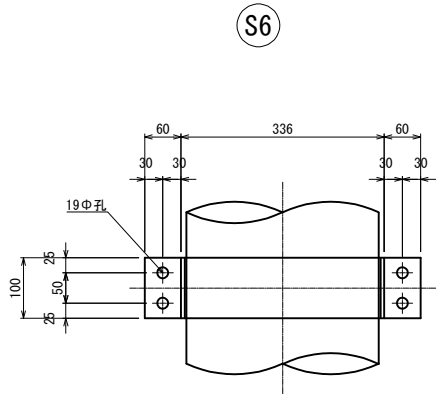


首都圏中央連絡自動車道			
つくば牛久I C～牛久阿見I C間附帯工工事			
図面の種類	橋梁排水		
	用排水工詳細図(2)		
縮 尺	1:50	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

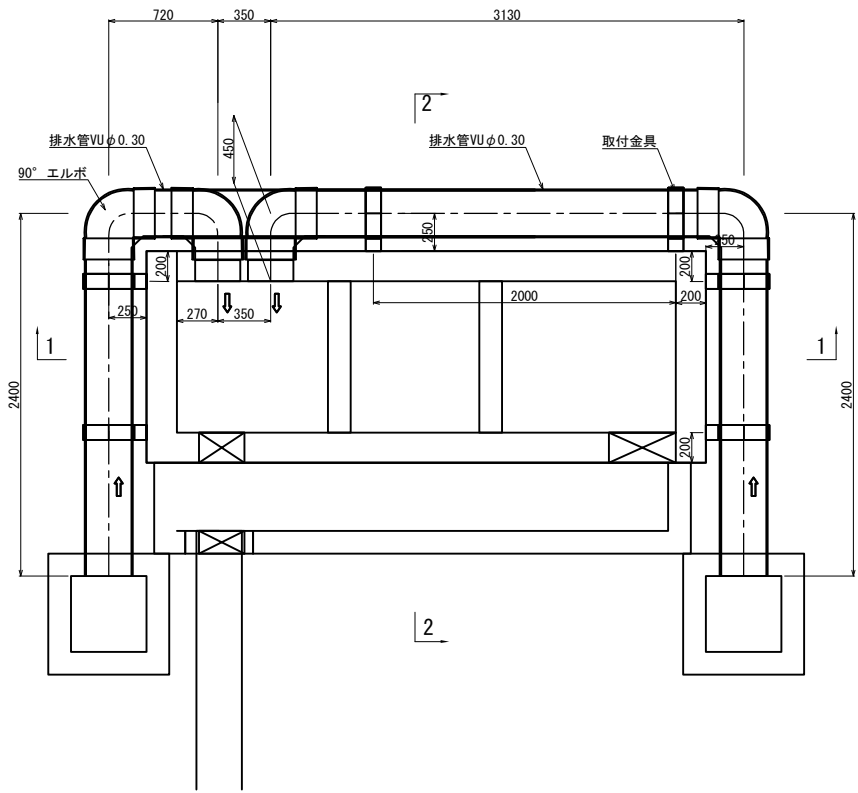
用排水工詳細図(3)



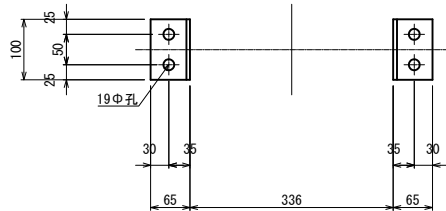
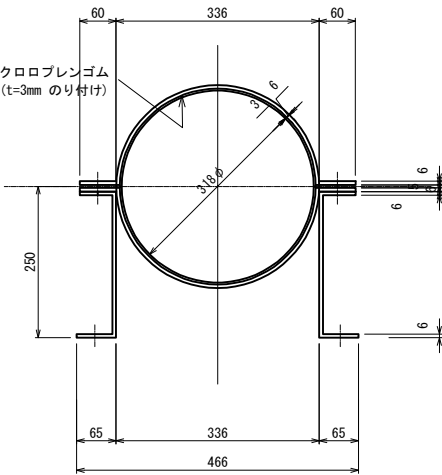
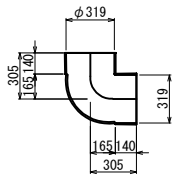
支持金具詳細 S = 1 : 25



平面図



90° エルボ詳細



- 1組当たり材料
- 2 - PI 100 x 6 x 355
 - 2 - PI 100 x 6 x 634
 - 4 - B.N M16 x 50(2-W付)
 - 4 - スリーブ打込み式アンカー M16 x 100
 - ※ 2 - ゴム板 100 x 3 x 504

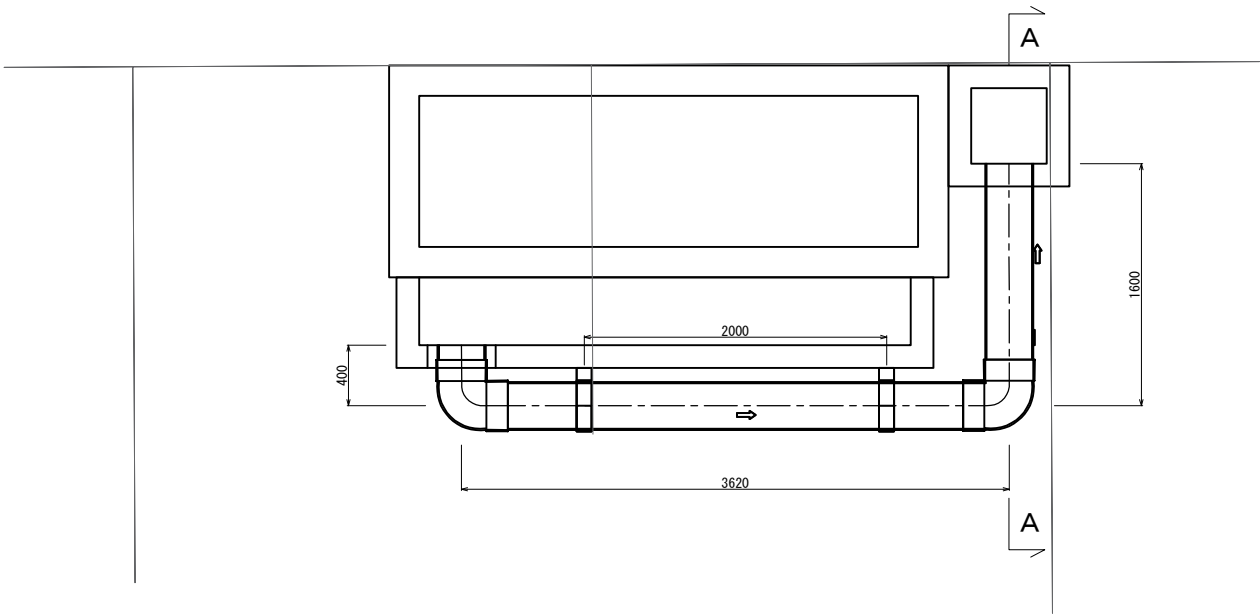
- 注)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - ※印以外の部材は、溶融亜鉛メッキを施す。
付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット類及び板厚6mm未満の部材は、HDZT49とする。
 - ナットは全て、ゆるみ止めナットを使用すること。

材料表		9.55m当り		
項 目	細 目	単 位	数 量	摘 要
90° エルボ	VUφ0.30	個	4	
取付金具	S6	個	6	
直管	VUφ0.30	m	8.23	

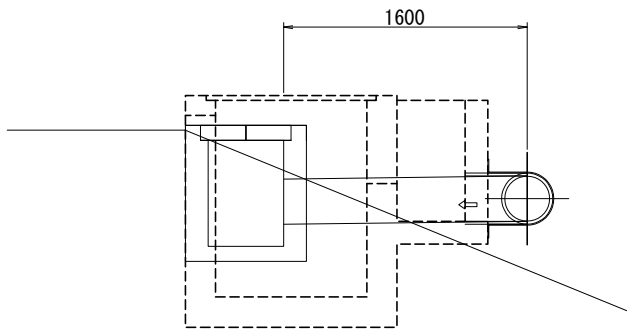
首都圏中央連絡自動車道	
つくば牛久I C～牛久阿見I C間附帯工工事	
橋梁排水	
図面の種類	用排水工詳細図(3)
縮 尺	1:50 図面番号
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工務事務所

用排水工詳細図(4)

排水管B
(P4)

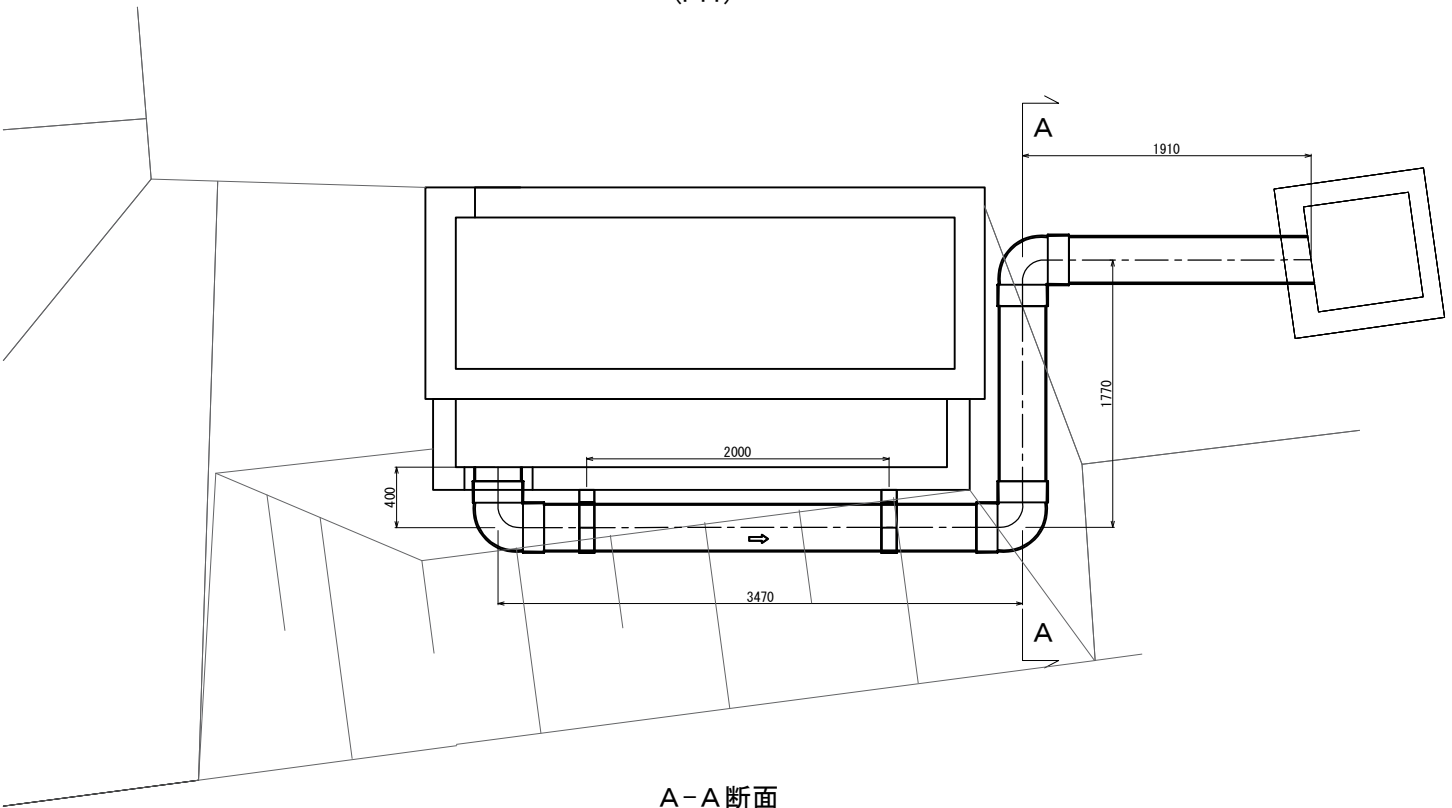


A-A断面

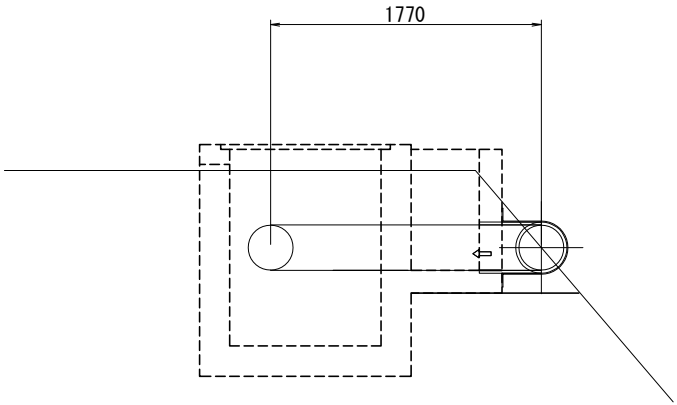


材料表					5.62m当り
項 目	細 目	単 位	数 量	摘 要	
90° エルボ	VUφ0.30	個	2		
取付金具	S6	個	2		
直管	VUφ0.30	m	4.96		

排水管C
(P11)



A-A断面

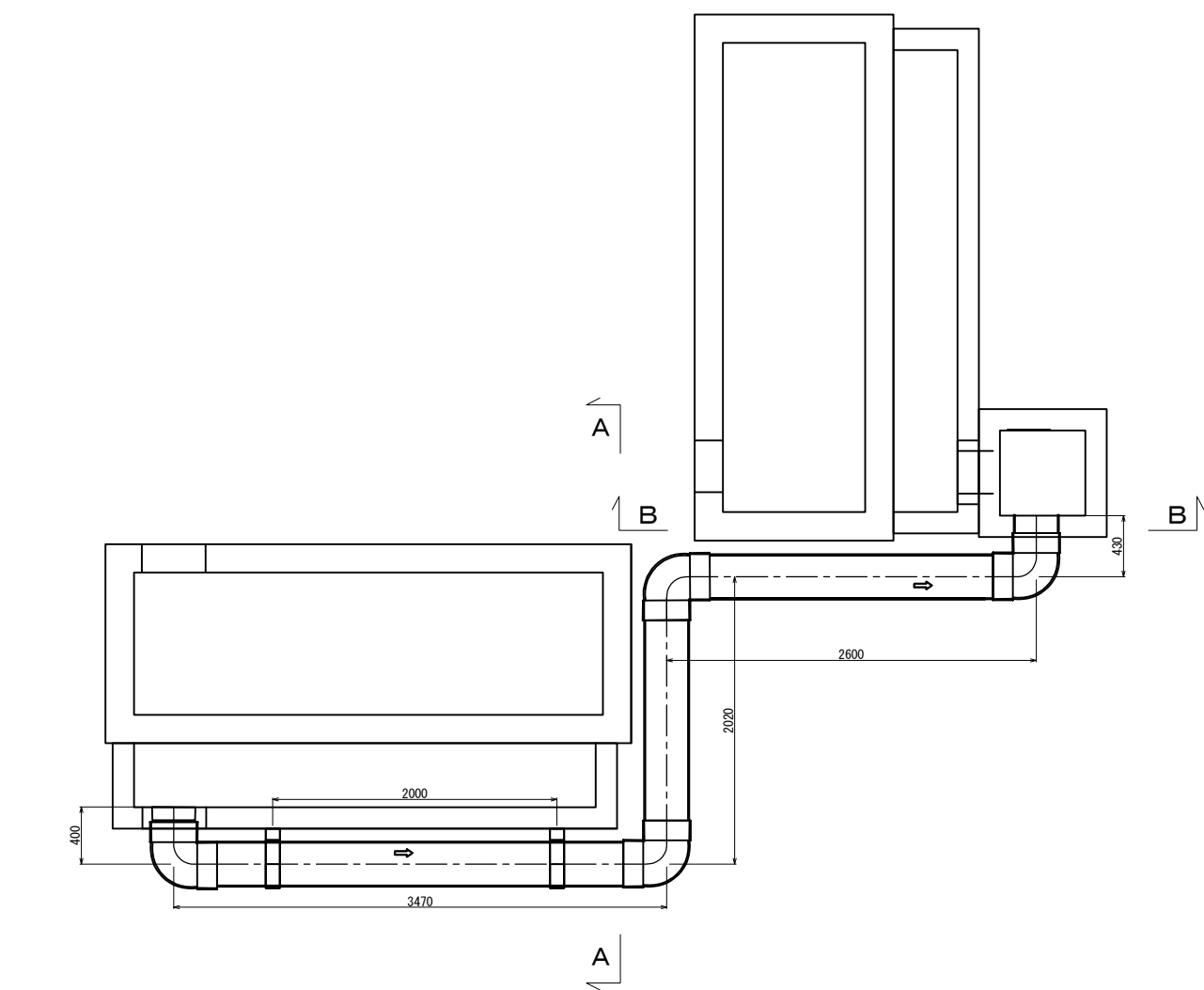


材料表					7.55m当り
項 目	細 目	単 位	数 量	摘 要	
90° エルボ	VUφ0.30	個	3		
取付金具	S6	個	2		
直管	VUφ0.30	m	6.56		

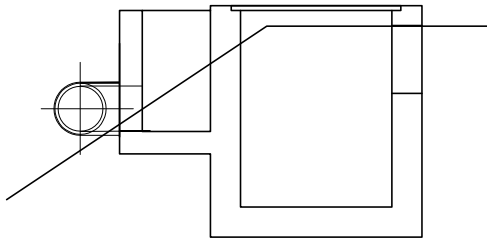
首都圏中央連絡自動車道 つくば牛久I C～牛久阿見I C間附帯工工事			
図面の種類	橋梁排水		
	用排水工詳細図(4)		
縮 尺	1:50	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

用排水工詳細図(5)

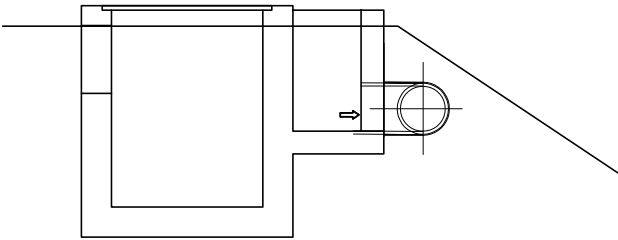
排水管D
(P30)



A-A断面

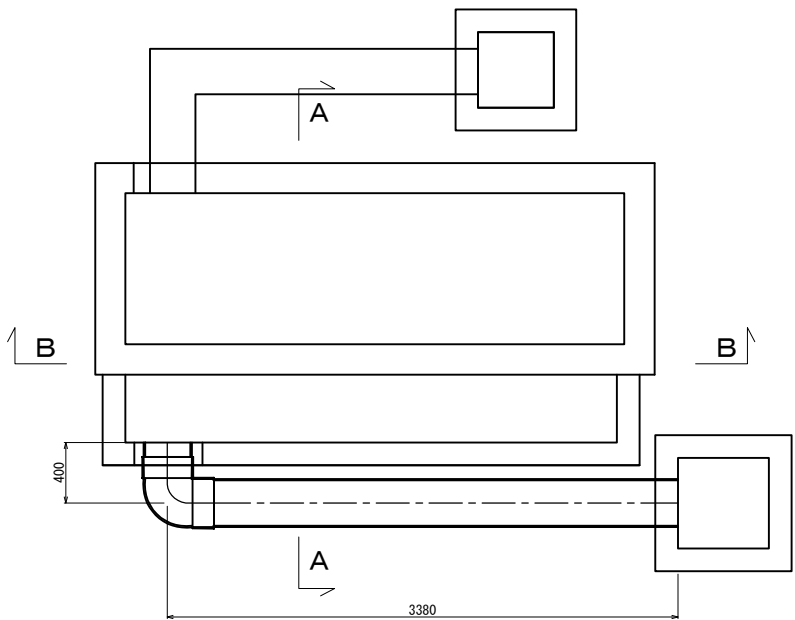


B-B断面

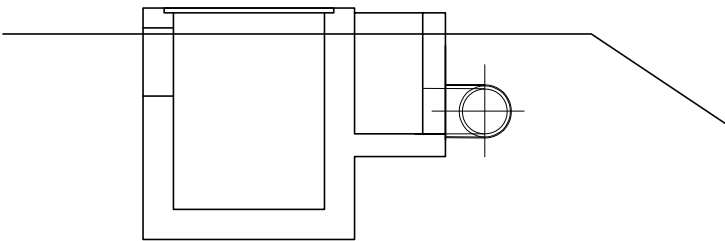


材料表				
項 目	細 目	単 位	数 量	摘 要
90° エルボ	VUφ0.30	個	4	
取付金具	S6	個	2	
直管	VUφ0.30	m	7.60	

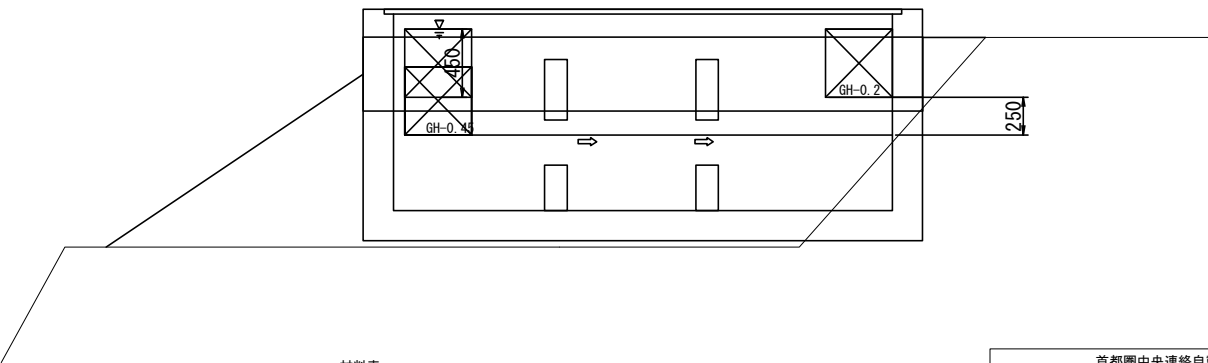
排水管E
(P36)



A-A断面



B-B断面

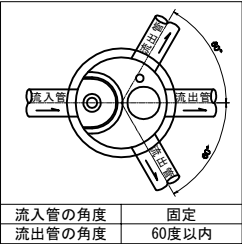


材料表				
項 目	細 目	単 位	数 量	摘 要
90° エルボ	VUφ0.30	個	1	
取付金具	S6	個	-	
直管	VUφ0.30	m	3.45	

首都圏中央連絡自動車道	
つくば牛久I C～牛久阿見I C間附帯工事	
橋梁排水	
図面の種類	用排水工詳細図(5)
縮 尺	1:50 図面番号
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工務事務所

用排水工詳細図(6)

Dco (C)- ϕ 1.80-2.40
牛久高架橋 STA52+56.0(L)



処理能力		貯留槽				
最大処理流量 (L/s)	集水面積 (ha)	マンホールサイズ (mm)	最小貯留槽高 (mm)	油の貯留量 (L)	堆積物の貯留量 (L)	全貯留量 (L)
18	0.72	φ1800	1400	920	500	3180

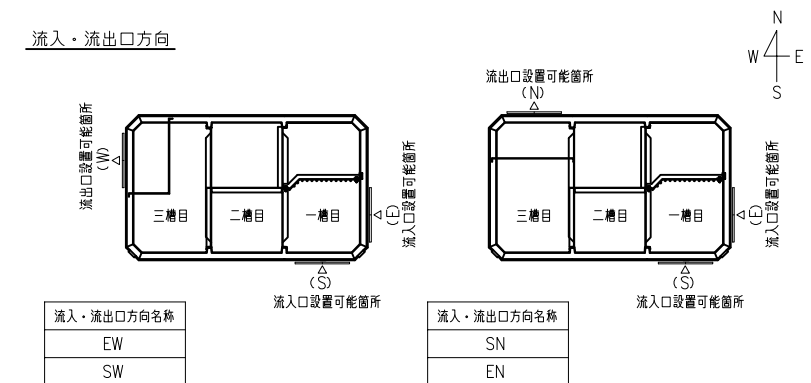
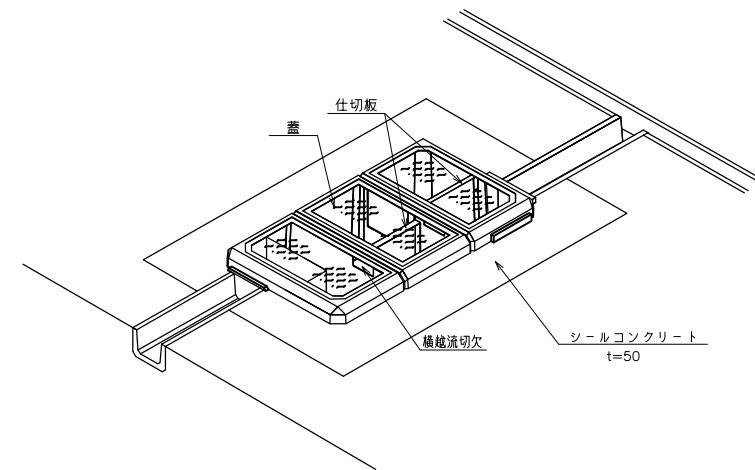
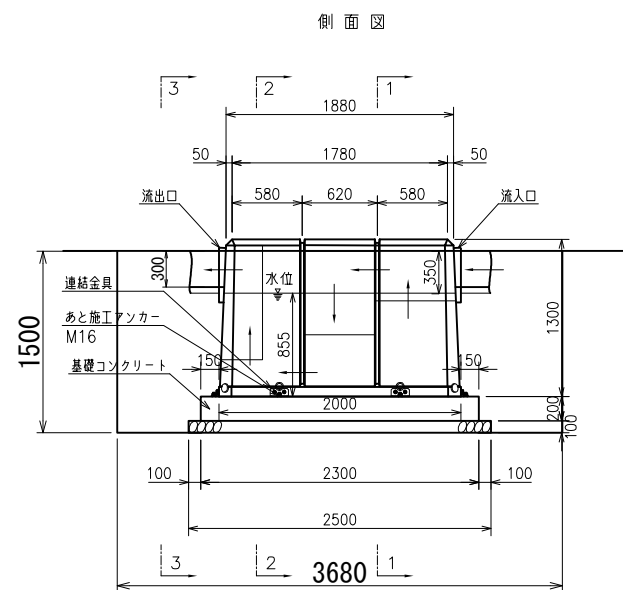
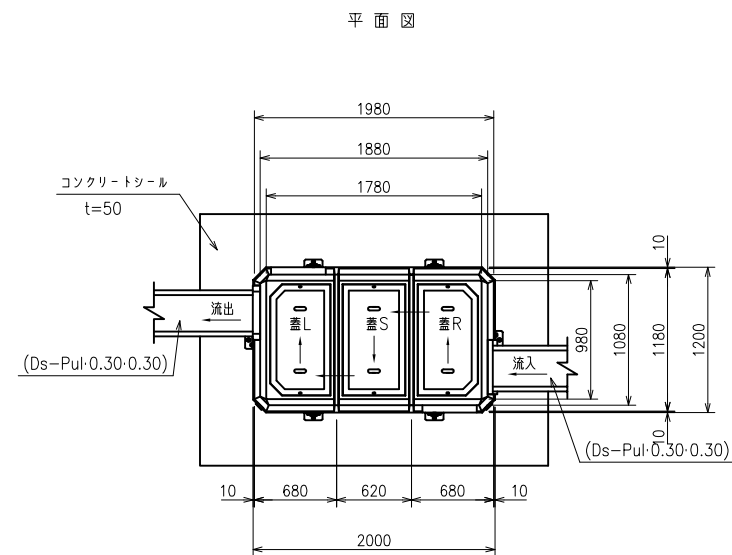
- *1 貯留槽内で処理できる最大流量であり、この値を超えた流量分だけがオーバーフローします
- *2 降雨強度10mm/hrの場合の集水面積です。
- *3 現場条件等からマンホールブロック割付けが変更され、貯留槽高が変わることがあります。

材 料 表		1箇所当り		
項 目	細 目	単 位	数 量	摘 要
躯体	直壁 (φ1800, h=900)	個	1	
	特殊部材付直壁 (φ1800, h=1500)	個	1	FRP製デバイス付
	底版 (φ2190, h=200)	個	1	
	穿孔 (Ds=PuL-0.60~0.60用)	箇所	1	
	穿孔 (Ds=PuL-0.60~0.60用)	箇所	1	
敷きモルタル	1 : 3	m ³	0.11	
基礎材	C	m ³	0.90	砕石盛土
構造物掘削	普通部	m ³	51.61	
埋戻し	A2	m ³	42.84	
残土		m ³	8.77	
蓋 φ1800用	縁鋼板 (t=6)	kg	172.1	
	等辺山形鋼 (50×50×6)	kg	40.8	
	つり金具 (φ13)	kg	3.2	溶融亜鉛メッキ HDZ777

首都圏中央連絡自動車道			
つくば牛久I C～牛久阿見I C間附帯工工事			
図面の種類	橋梁排水		
用排水工詳細図 (6)			
縮 尺	1:50	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工 事 務 所		

用排水工詳細図(7)

Dco (B)-1.20 - 2.00. 1.30



設計条件		
適用場所	平 地	
流入出方向	EW,SW	EN,SN
許容流入量	0.120m ³ /s以下	0.120m ³ /s以下
必要貯油量	0.600m ³ 以上	0.600m ³ 以上
貯油量	0.658m ³	0.650m ³

項 目	規格寸法	単位	数 量	摘 要
構造物掘削	普通部	m ³	11.92	
埋戻し	A2	m ³	8.15	
残土		m ³	3.77	
基礎コンクリート	c2-1	m ³	0.69	
基礎材	c	m ³	0.43	碎石盛土
油水分離槽		式	1	
撤去工	(Ds=Pu/0.30-0.30)	m		
復旧工	(Ds=Pu/0.30-0.30)	m		
コンクリート	c1-1	m ³	0.18	コンクリートシール
型わく	D	m ²	0.46	コンクリートシール

数 量 表		1 基 当 り		
項 目	規格寸法	単位	数 量	摘 要
油水分離機	1200×2000×1300	個	1	FRP製 参考重量 150kg
蓋R・L	494×914	枚	2	FRP製
蓋S	514×914	枚	1	FRP製
固定バルト※	M16×35	個	6	
ワッシャー※	M16用	枚	6	
あと施工アンカー※	M16×L=63以上	本	6	
弾性シーリング材		l	0.225	クレタン系 (0.3t/700ml)

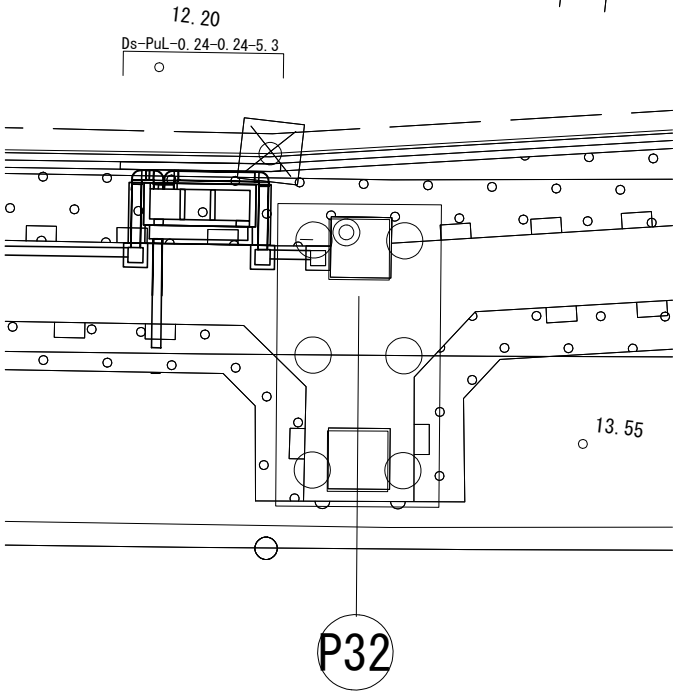
注) 融亜鉛めっき (HDZT49)

首都圏中央連絡自動車道 つくば牛久IC～牛久阿見IC間附帯工事			
橋梁排水			
図面の種類	用排水工詳細図(7)		
縮 尺	1:50	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

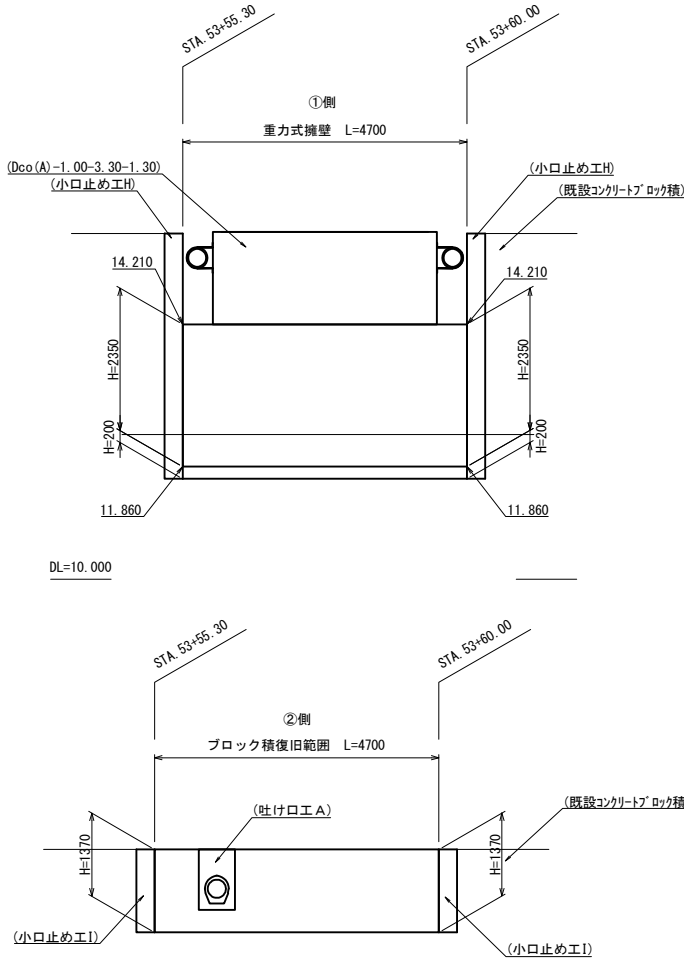
重力式擁壁工一般図(1)

I - P 32 STA. 53+55. 30～STA. 53+60. 00

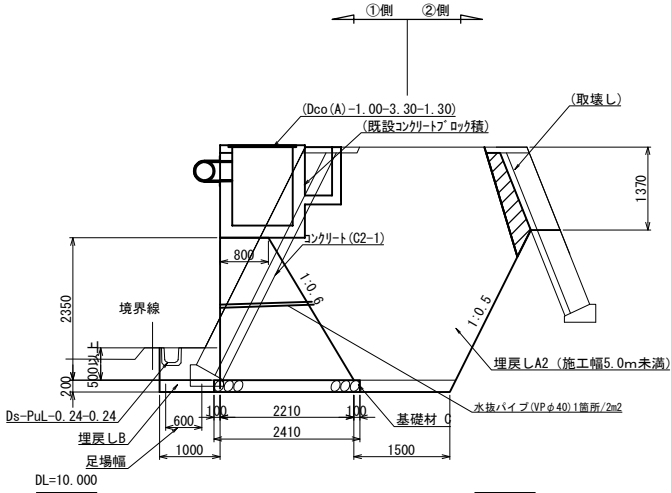
位置図 S=1:250



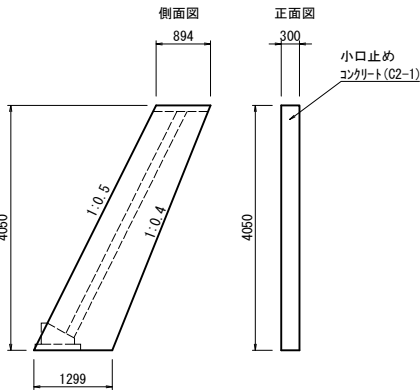
復旧正面図 S=1:125



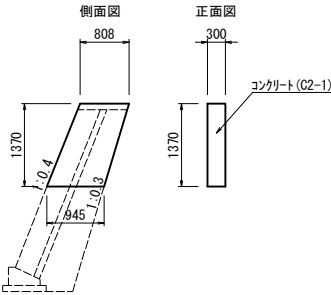
断面図 S=1:125



小口止め工H



小口止め工I

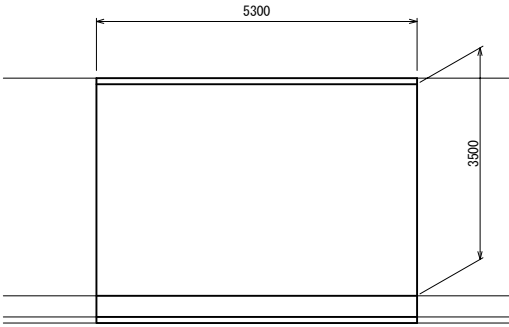


小口止め 数量表			1箇所当り		
種別	細別	単位	数 量		摘 要
			H	I	
コンクリート	C2-1	m ³	1.3	0.4	
型わく	C	m ²	5.8	1.6	

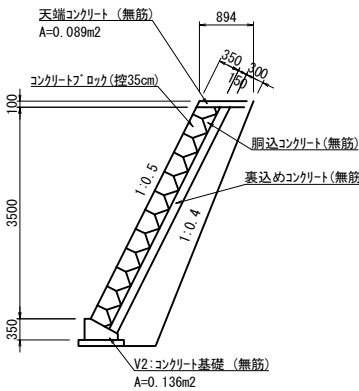
Rw-Cb取壊し

①側

正面図 S=1:125

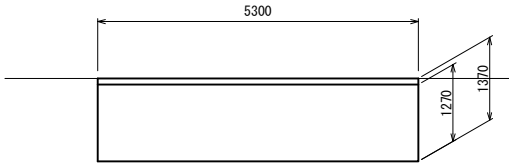


断面図 S=1:125

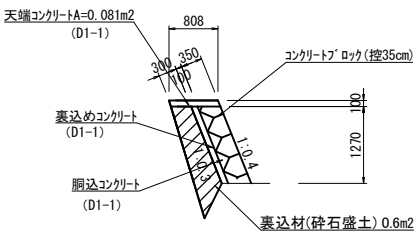


②側

正面図



断面図 S=1:125



数量表			
項 目	名 称	単位	数量
コンクリート	C 2 - 1	m ³	16.6
型わく	C	m ²	23.9
構造物取壊し工	コンクリート構造物取壊し (T y p e A)	m ²	0.2
	コンクリート構造物取壊し (T y p e B)	m ²	15.3
復旧工	構造物掘削 A	m ²	79.8
復旧工	コンクリート' ロック積み(練)控え35cm	m ²	5.8
復旧工	裏込め砕石 (R)	m ²	2.8
復旧工	基礎材 C	m ²	2.3
復旧工	PuL -0.24-0.24	m	5.3

※構造物取壊し工の数量は別途計上済み

コンクリート' ロック積み 材料表			
名 称	規 格	単位	数量
コンクリート' ロック積み	滑面タイプ	m ²	5.8
胴込めコンクリート	D1-1	m ²	1.0
天端コンクリート	D1-1	m ²	0.4
裏込めコンクリート	D1-1	m ²	0.6

設 計 条 件

形 式	重力式擁壁 H=2.5m	
使用材料	コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$
	裏込め土	砂質土
	支持地盤	砂
	内部摩擦角	$\phi = 30.0^\circ$
単位体積重量	コンクリート	$\gamma_c=23.0kN/m^3$
	裏込め土	$\gamma_s=19.0kN/m^3$
載 荷 重	$q'=10.0kN/m$	
衝突荷重	-	
土 圧	試 行 く さ び 法	
裏込め土の粘着力	$C=0.0kN/m^2$	
摩 擦 係 数	$\tan \phi_{\theta} =0.6$	

安定計算の許容値

安全率	常 時	
	滑動に対する	1.5
	転倒に対する	L/6
	支持力に対する	3
最大地盤反力 kN/m2	200	

※地盤反力は常時 Q=48.5kN/m2

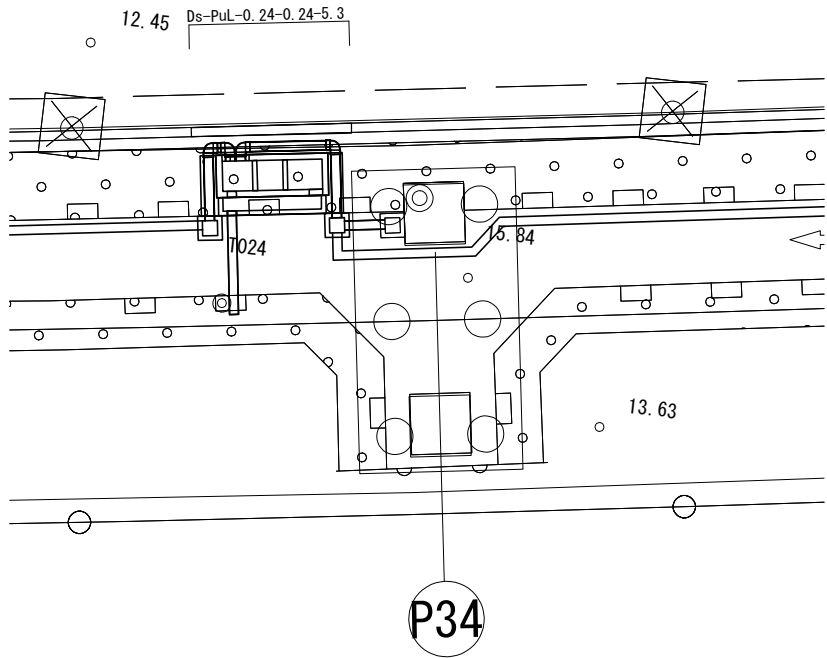
※平板載荷試験を実施し、許容鉛直支持力度が地盤反力度以上であることを確認すること。

首都圏中央連絡自動車道			
つくば牛久保IC～牛久保IC間附帯工事			
図面の種類	橋梁排水 重力式擁壁工一般図(1)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	つくば工務事務所		

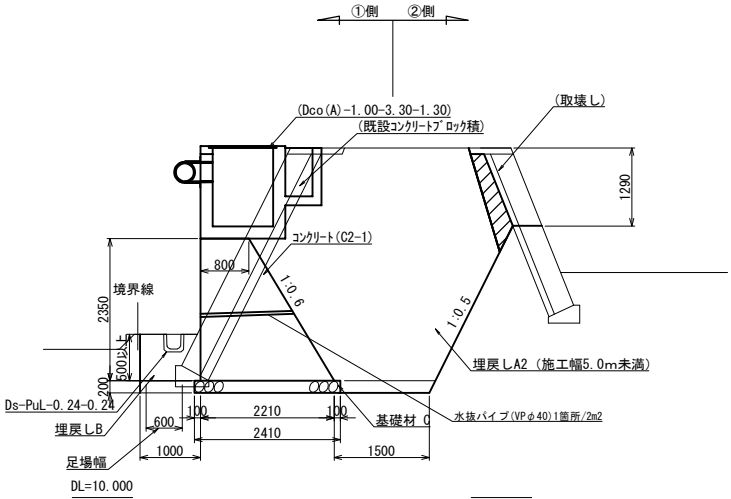
重力式擁壁工一般図(2)

I - P 34 STA. 54+24. 30~STA. 54+29. 00

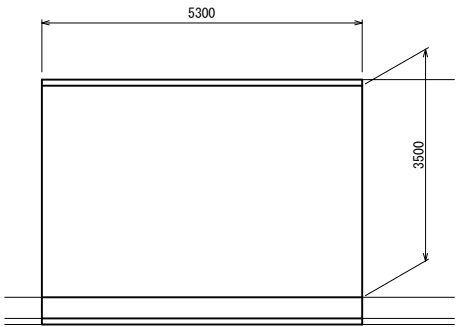
位置図 S=1:250



断面図 S=1:125

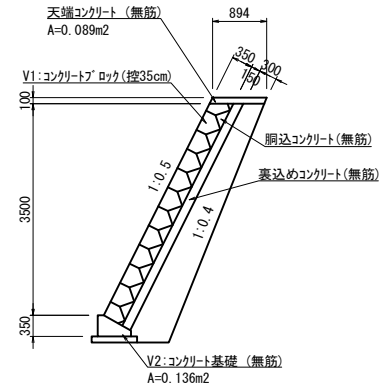


正面図 S=1:125



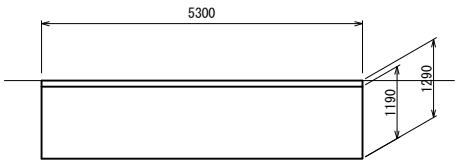
Rw-Cb取壊し
①側

断面図 S=1:125

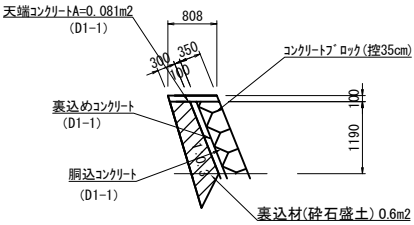


②側

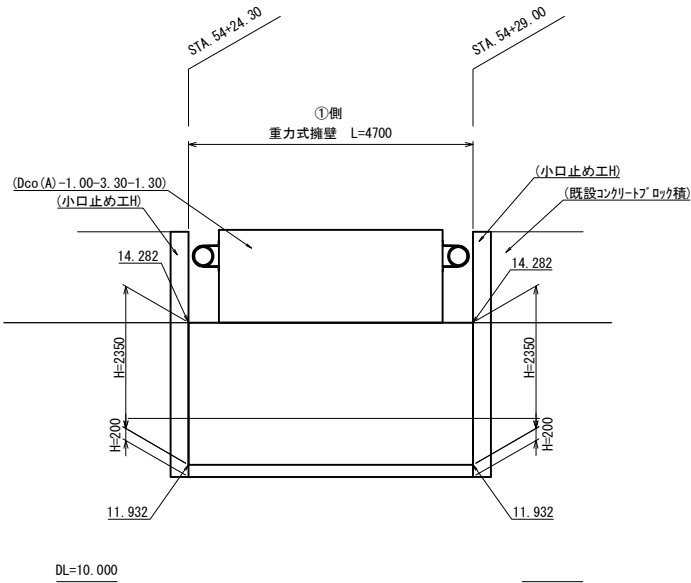
正面図 S=1:125



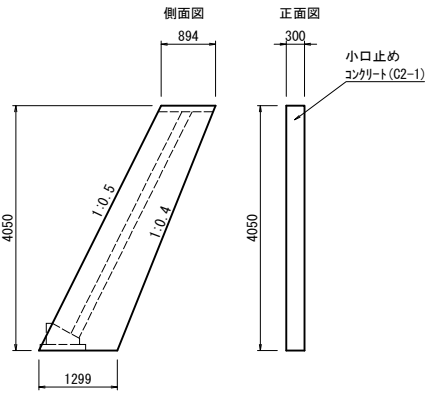
断面図 S=1:125



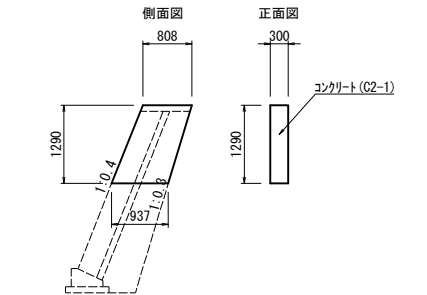
正面図 S=1:125



小口止め工H



小口止め工J



小口止め 数量表			1箇所当り		
種別	細別	単位	数 量		摘 要
			H	J	
コンクリート	C2-1	m ³	1.3	0.3	
型わく	C	m ²	5.9	1.5	

項 目	名 称	単位	数量
コンクリート	C 2 - 1	m ³	16.6
型わく	C	m ²	23.9
構造物取壊し工	コンクリート構造物取壊し (Type A)	m ³	0.2
	コンクリート構造物取壊し (Type B)	m ³	15.1
復旧工	構造物掘削 A	m ³	79.8
復旧工	コンクリートブロック積み(練)控え35cm	m ³	5.4
復旧工	裏込め砕石 (R)	m ³	2.8
復旧工	基礎材C	m ³	2.3
復旧工	PuL-0.24-0.24	m	5.3

※構造物取壊し工の数量は別途計上済み

名 称	規 格	単位	数量
コンクリートブロック積み	滑面タイプ	m ³	5.4
胴込めコンクリート	D1-1	m ³	1.0
天端コンクリート	D1-1	m ³	0.4
裏込めコンクリート	D1-1	m ³	0.5

設 計 条 件

形 式	重力式擁壁 H=2.5m	
使用材料	コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$
	裏込土	砂質土
	支持地盤	砂
	内部摩擦角	$\phi = 30.0^\circ$
単位体積重量	コンクリート	$\gamma_c=23.0kN/m^3$
	裏込土	$\gamma_s=19.0kN/m^3$
載 荷 重	$q'=10.0kN/m$	
衝突荷重	-	
土 圧	試 行 く さ び 法	
裏込土の粘着力	$C=0.0kN/m^2$	
摩 擦 係 数	$\tan \phi_0 = 0.6$	

安定計算の許容値

安全率		常 時
	滑動に対する	1.5
最大地盤反力 kN/m2	転倒に対する	L/6
	支持力に対する	3
※地盤反力は常時 Q=48.5kN/m2		200

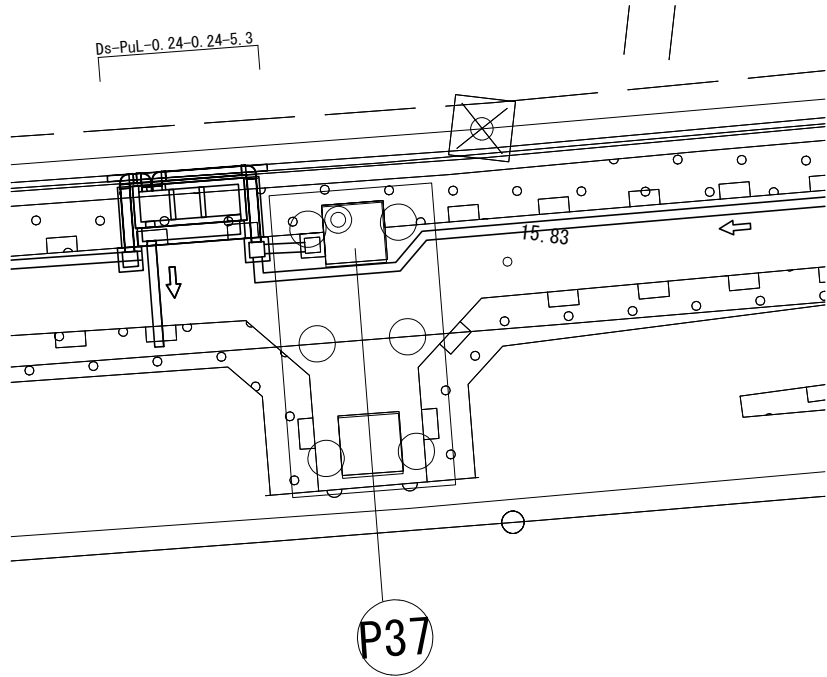
※平板載荷試験を実施し、許容鉛直支持力度が地盤反力度以上であることを確認すること。

首都圏中央連絡自動車道			
つくば牛久I C～牛久阿見I C間附帯工工事			
橋梁排水			
図面の種類	重力式擁壁工一般図(2)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	つくば工事事務所		

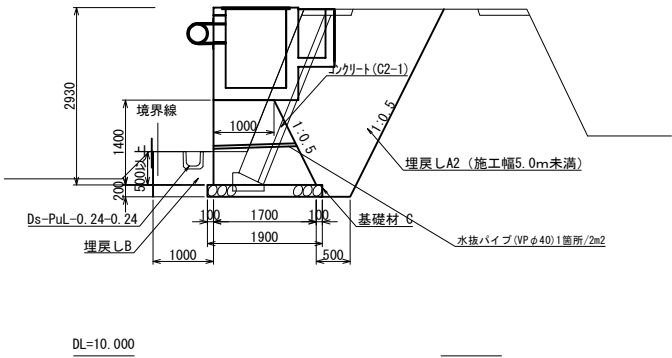
重力式擁壁工一般図(3)

I-P37 STA. 55+27.80~STA. 55+32.50

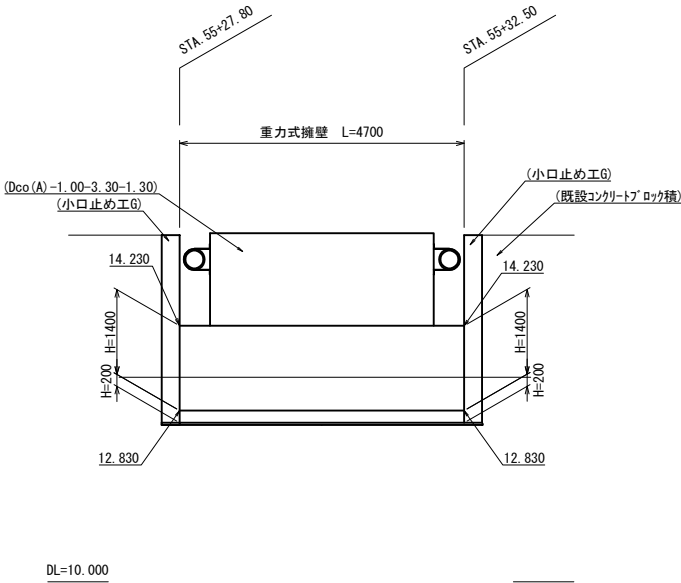
位置図 S=1:250



断面図 S=1:125

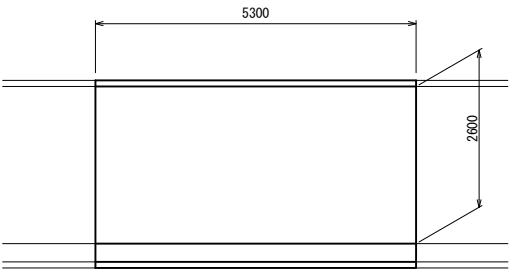


正面図 S=1:125

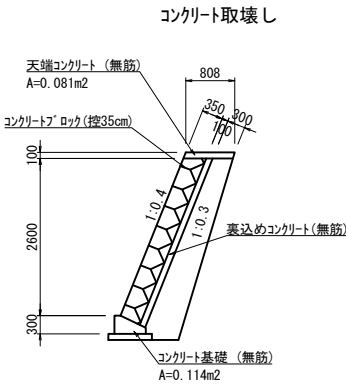


Rw-Cb取壊し

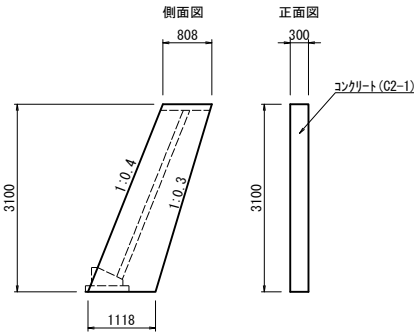
正面図 S=1:125



断面図 S=1:125



小口止め工G



材料表

1箇所当り

種別	細別	単位	数量	摘要
コンクリート	C2-1	m ³	0.9	
型わく	C	m ²	4.0	

数量表

項目	名称	単位	数量
コンクリート	C2-1	m ³	8.9
型わく	C	m ²	13.9
構造物取壊し工	コンクリート構造物取壊し(TypA)	m ³	0.2
	コンクリート構造物取壊し(TypB)	m ³	7.7
復旧工	構造物掘削A	m ³	32.5
復旧工	基礎材C	m ³	1.8
復旧工	PuL-0.24-0.24	m	5.3

※構造物取壊し工の数量は別途計上済み

設計条件

形式	重力式擁壁 H=2.5m	
使用材料	コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$
	裏込土	砂質土
	支持地盤	砂
	内部摩擦角	$\phi = 30.0^\circ$
単位体積重量	コンクリート	$\gamma_c=23.0kN/m^3$
	裏込土	$\gamma_s=19.0kN/m^3$
載荷重	$q'=10.0kN/m$	
衝突荷重	-	
土圧	試行くさび法	
裏込土の粘着力	$C=0.0kN/m^2$	
摩擦係数	$\tan \phi_a = 0.6$	

安定計算の許容値

安全率		常時
	滑動に対する	1.5
	転倒に対する	L/6
	支持力に対する	3
最大地盤反力 kN/m2		200

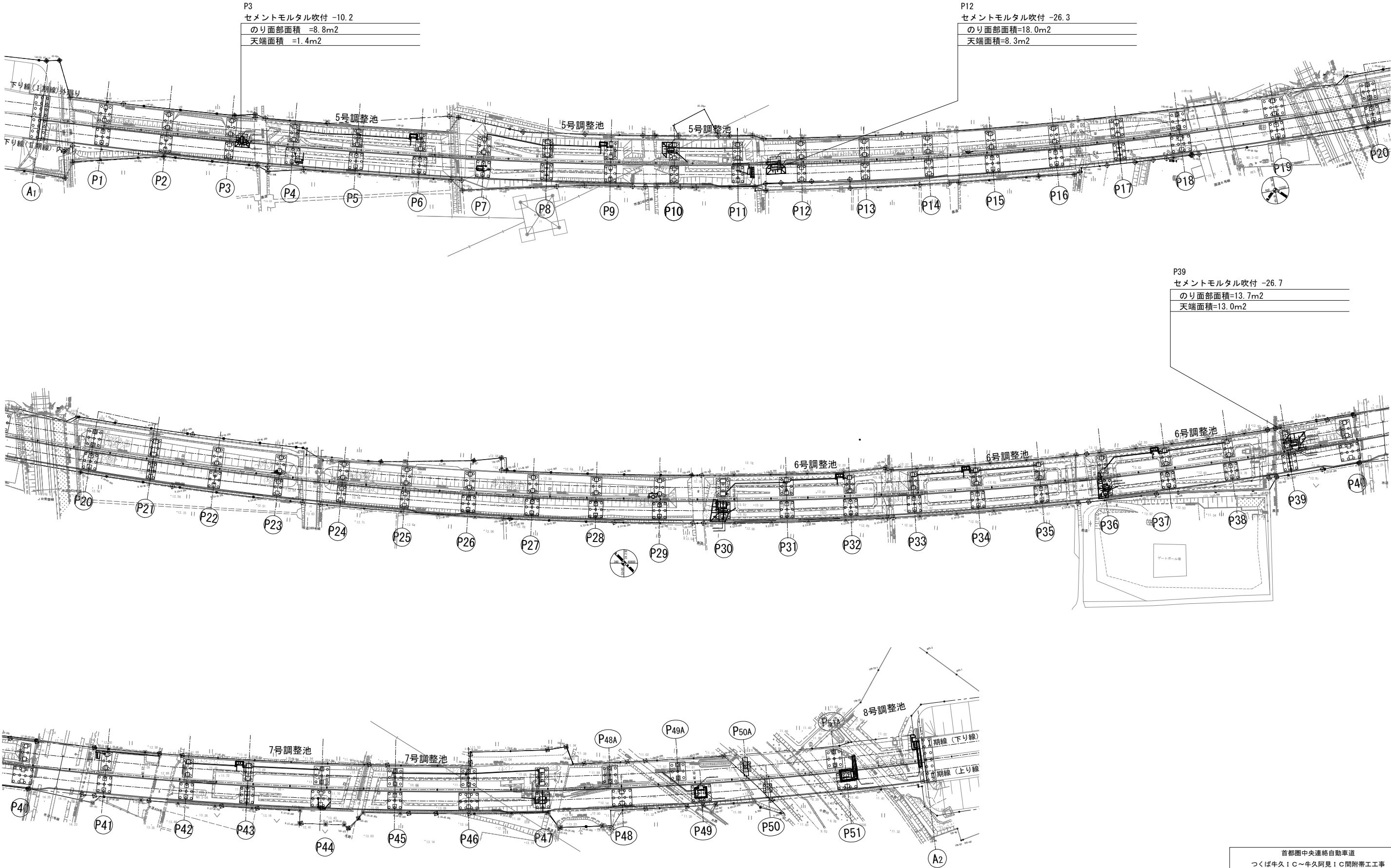
※地盤反力は常時 Q=48.5kN/m2

※平板載荷試験を実施し、許容鉛直支持力度が地盤反力度以上であることを確認すること。

首都圏中央連絡自動車道		
つくば牛久I.C~牛久阿見I.C間附帯工事		
図面の種類	橋梁排水	
	重力式擁壁工一般図(3)	
縮尺	図示	図面番号
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社	
	つくば工事事務所	

のり面工図

S=1:2500



数量表

項目	名称	単位	数量	摘要
セメントモルタル吹付工	セメントモルタル吹付 (t = 5 c m)	m ³	63.2	

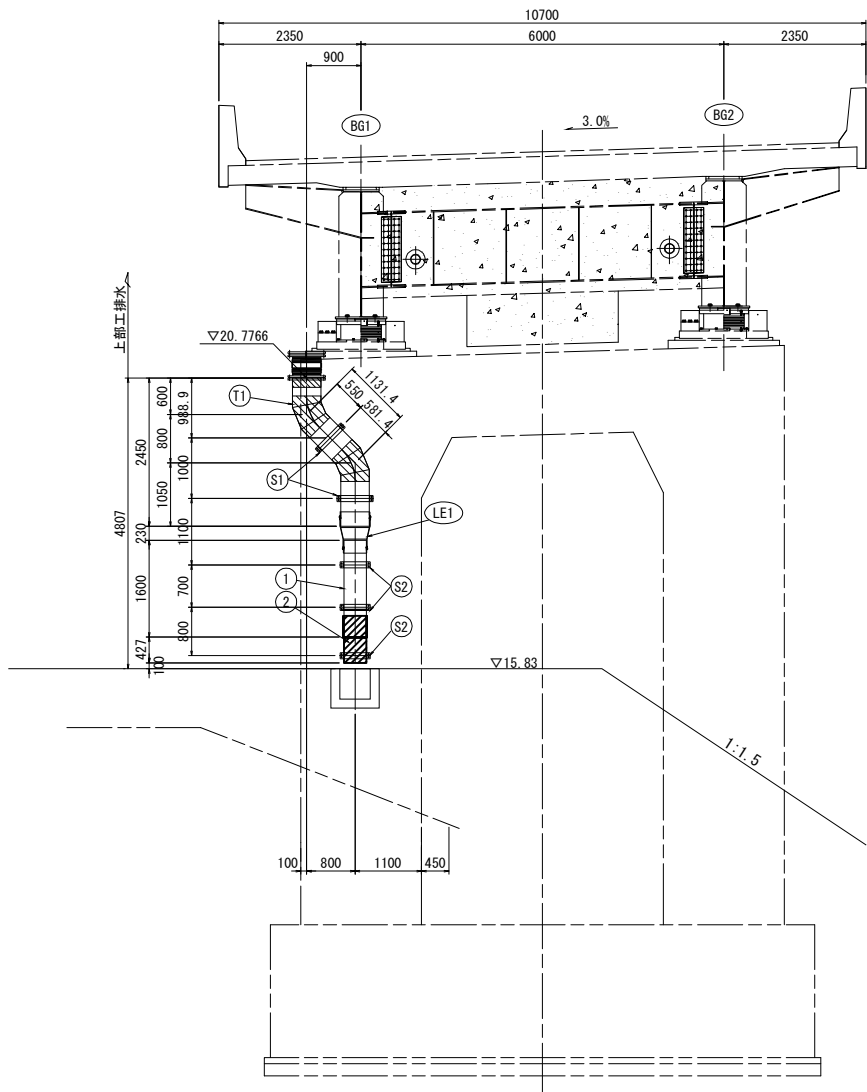
首都圏中央連絡自動車道 つくば牛久1C～牛久阿見1C間附帯工工事 橋梁排水	
図面の種類	のり面工図
縮尺	1:2500 図面番号
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工務事務所

事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所
------	------------------------------

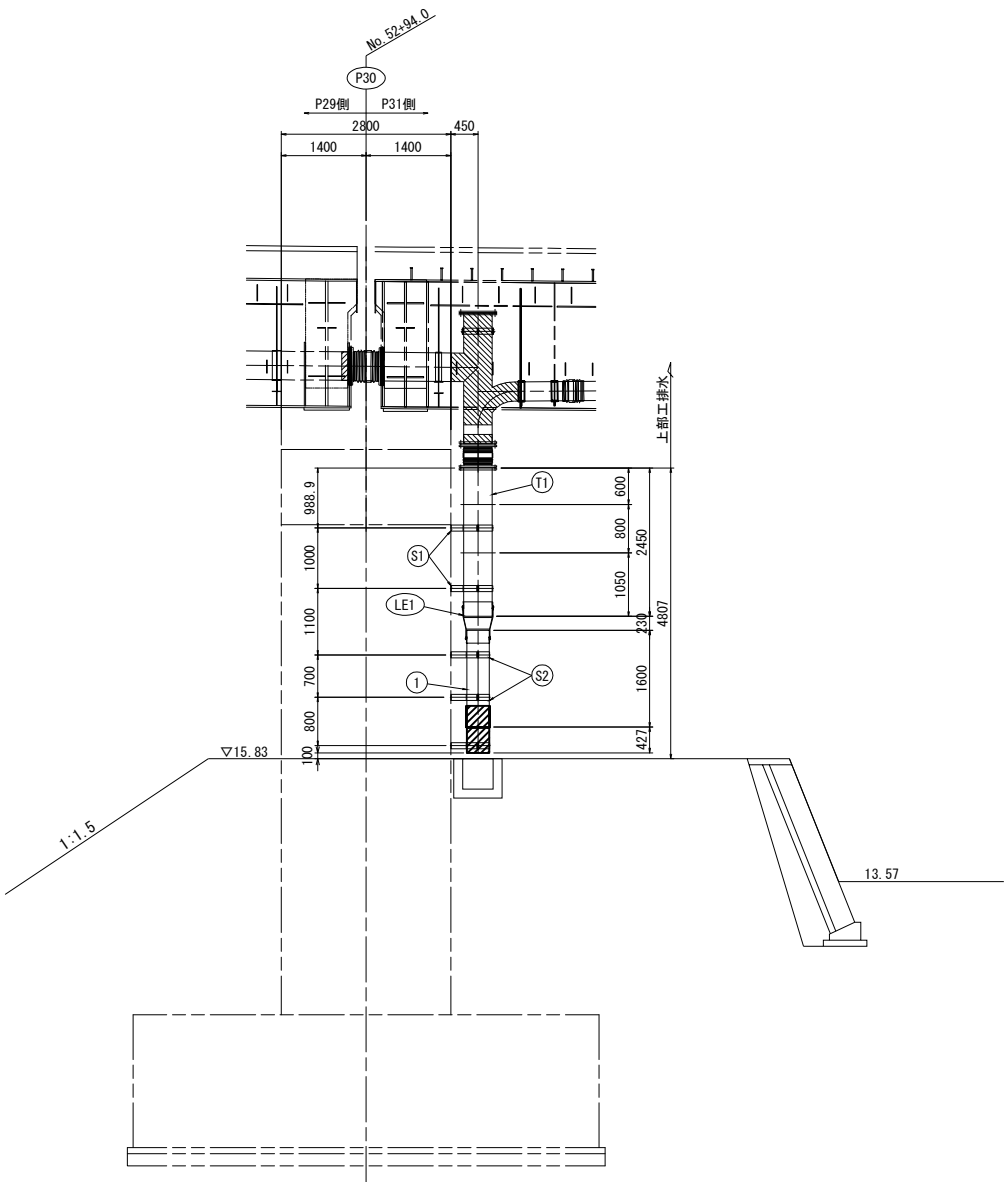
下部工排水装置組立図 (2)
(Ⅱ期線)
P30橋脚

S=1:125

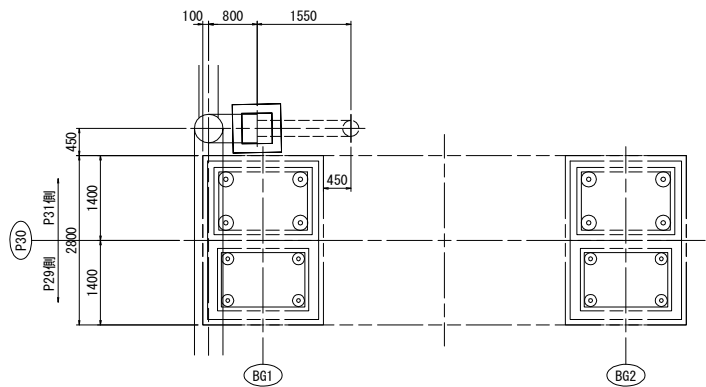
正面図



側面図



平面図



数量表

項 目	名 称	単位	数量	摘 要
復旧工	下部工排水 P 3 0	箇所	1	Ⅰ期線及びⅡ期線

P30橋脚 材料表

	記号	数量
直管	1	1
直管	2	1
チーズ管	T1	1
レジャーサー	LE1	1
支持金具	S1	2
	S2	3

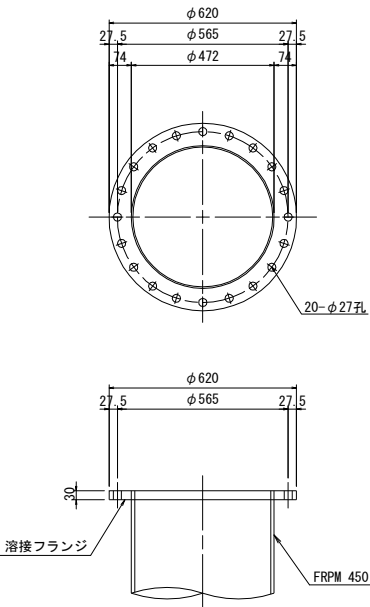
首都圏中央連絡自動車道 つくば牛久ⅠC～牛久阿見ⅠC間附帯工工事			
図面の種類	橋梁排水		
	下部工排水装置組立図(2) (Ⅱ期線)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 横河ブリッジ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	つくば工事事務所		

下部工排水装置組立図 (3)
(Ⅱ期線)
P30橋脚

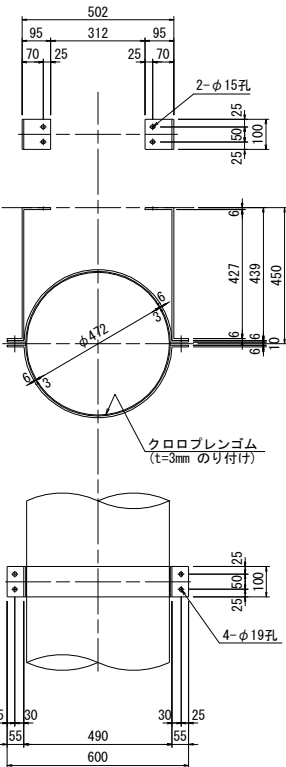
S=1:25

フランジ詳細

(JIS 10K)
FRPM 450用
溶接フランジ



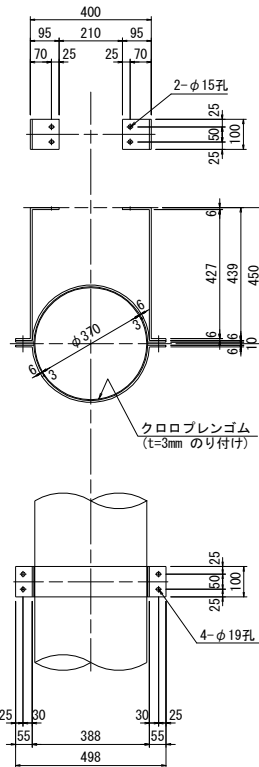
①



2-PL 100x6x861
2-PL 100x6x577
4-BN M16x55 (1-W, 1-UNut付)
4-芯棒打ち込み式アンカー M12x100 (1-UNut, 1-W付)
※ 2-GUM 100x3x746 (クロロブレンゴム)

支持金具詳細

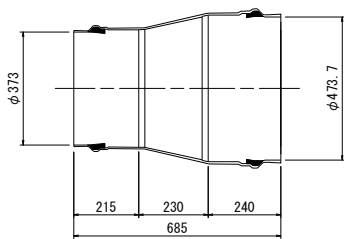
②



2-PL 100x6x700
2-PL 100x6x577
4-BN M16x55 (1-W, 1-UNut付)
4-芯棒打ち込み式アンカー M12x100 (1-UNut, 1-W付)
※ 2-GUM 100x3x586 (クロロブレンゴム)

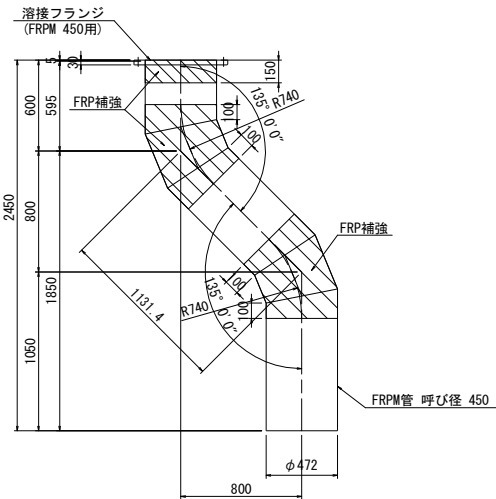
レジャーサー詳細

LE1
450x350 (FRPM管)



チーズ管詳細 S= 1:50

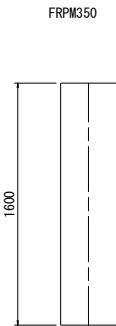
①



※ 1-FRPM 450x2728 (フランジ付き)
※ 1-溶接フランジ FRPM 450用 (JIS 10K)
20-BN M24x110 (2-W付) (SS400)

直管詳細 S= 1:50

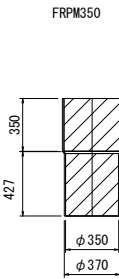
①



※ 1-FRPM 350x1600

直管詳細 S= 1:50

②



※ 1-FRPM 350x777

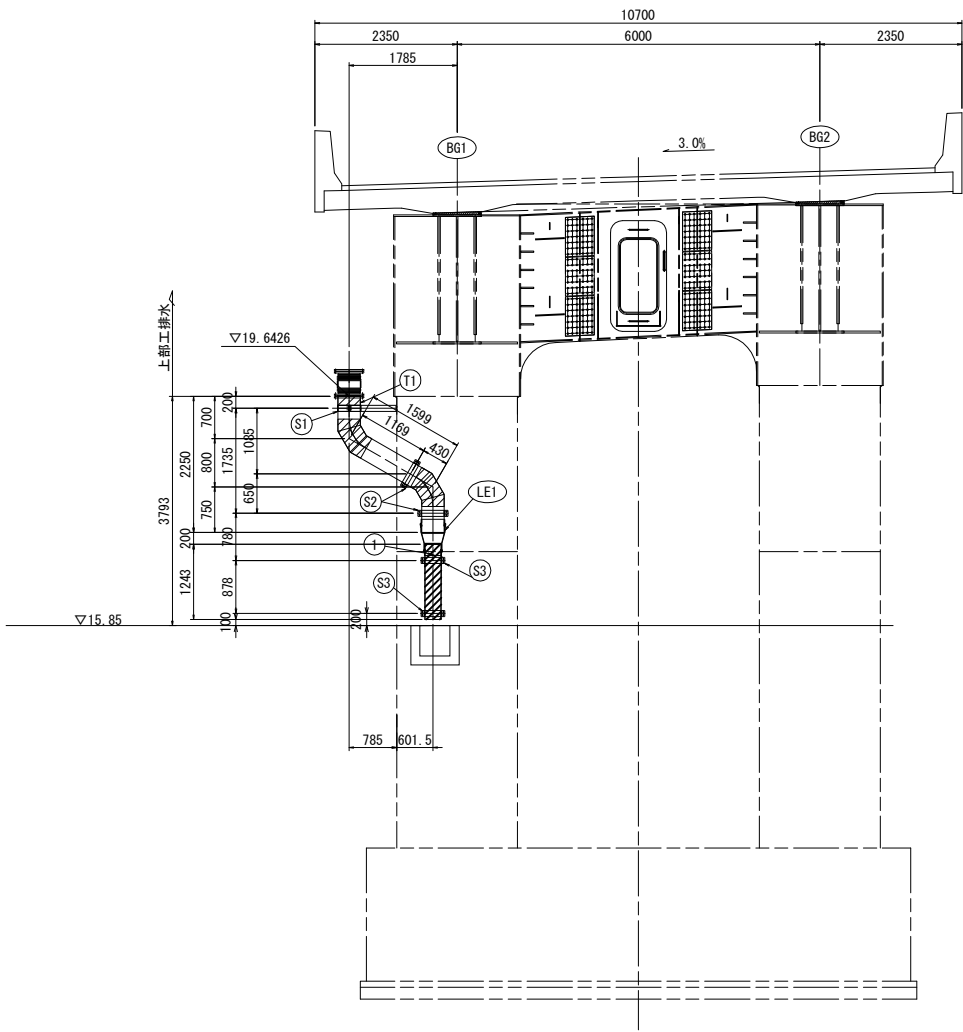
- 注)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - ※印以外の部材は、溶融亜鉛メッキを施す。
付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット類及び板厚6mm未満の部材は、HDZT49とする。
 - ナットは全て、ゆるみ止めナットを使用すること。

首都圏中央連絡自動車道 つくば牛久I C～牛久阿見I C間附帯工工事			
図面の種類	橋梁排水		
	下部工排水装置組立図(3) (Ⅱ期線)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 横河ブリッジ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工務事務所		

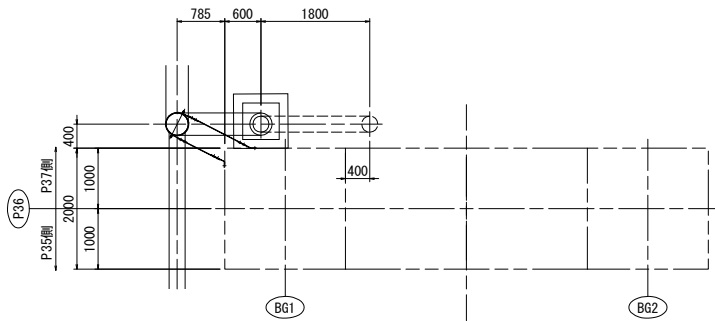
下部工排水装置組立図 (4)
(Ⅱ期線)
P36橋脚

S=1:125

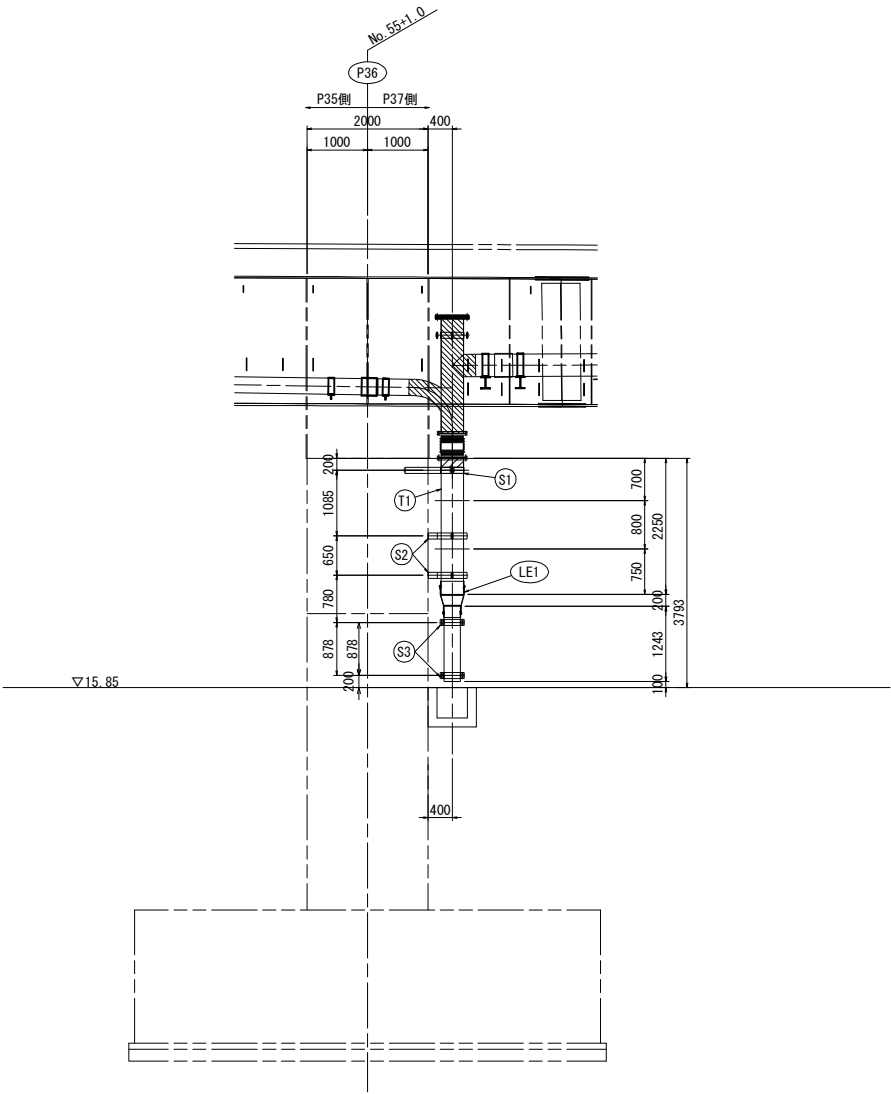
正面図



平面図



側面図



数量表

項 目	名 称	単 位	数 量	摘 要
復旧工	下部工排水 P 3 6	箇所	1	Ⅱ期線

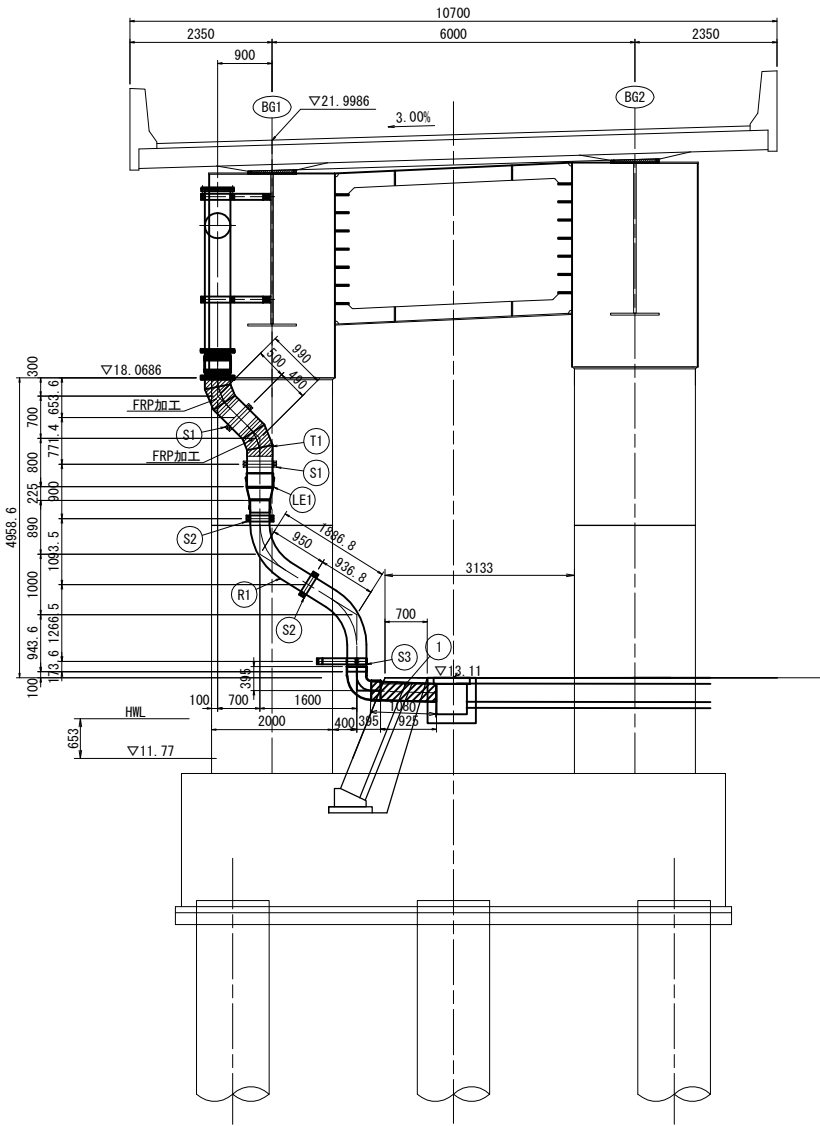
P36橋脚 材料表

	記号	数量
直管	1	1
チーズ管	T1	1
レジャーサー	LE1	1
支持金具	S1	1
	S2	2
	S3	2

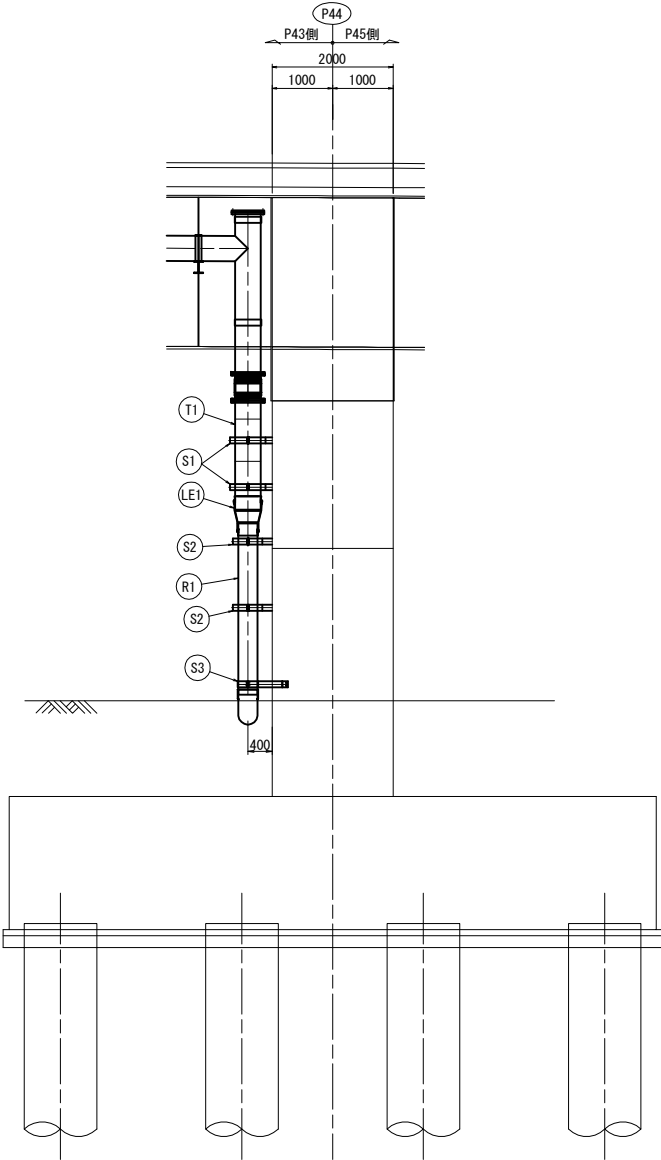
首都圏中央連絡自動車道 つくば牛久I C～牛久阿見I C間附帯工工事			
図面の種類	橋梁排水		
	下部工排水装置組立図 (4) (Ⅱ期線)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 横河ブリッジ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	つくば工事事務所		

下部工排水装置組立図 (6) S=1:125
(Ⅱ期線)
P44橋脚

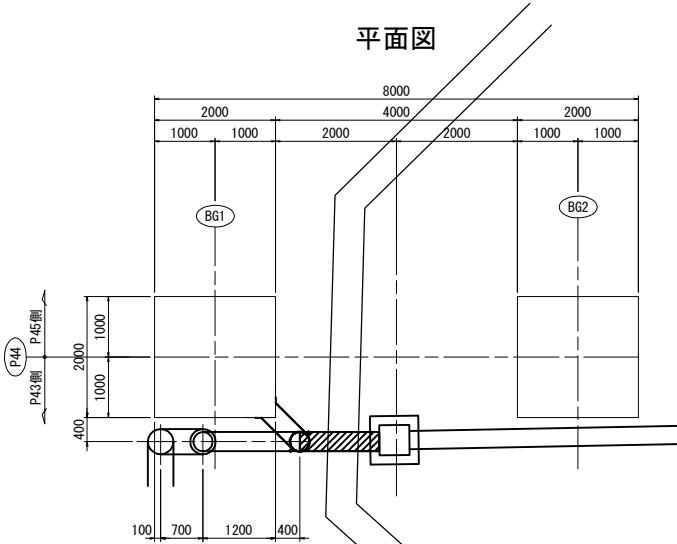
正面図



側面図



平面図



数量表					
項 目	名 称	単位	数量	摘 要	
復旧工	下部工排水 P 4 4	箇所	1	Ⅱ期線	

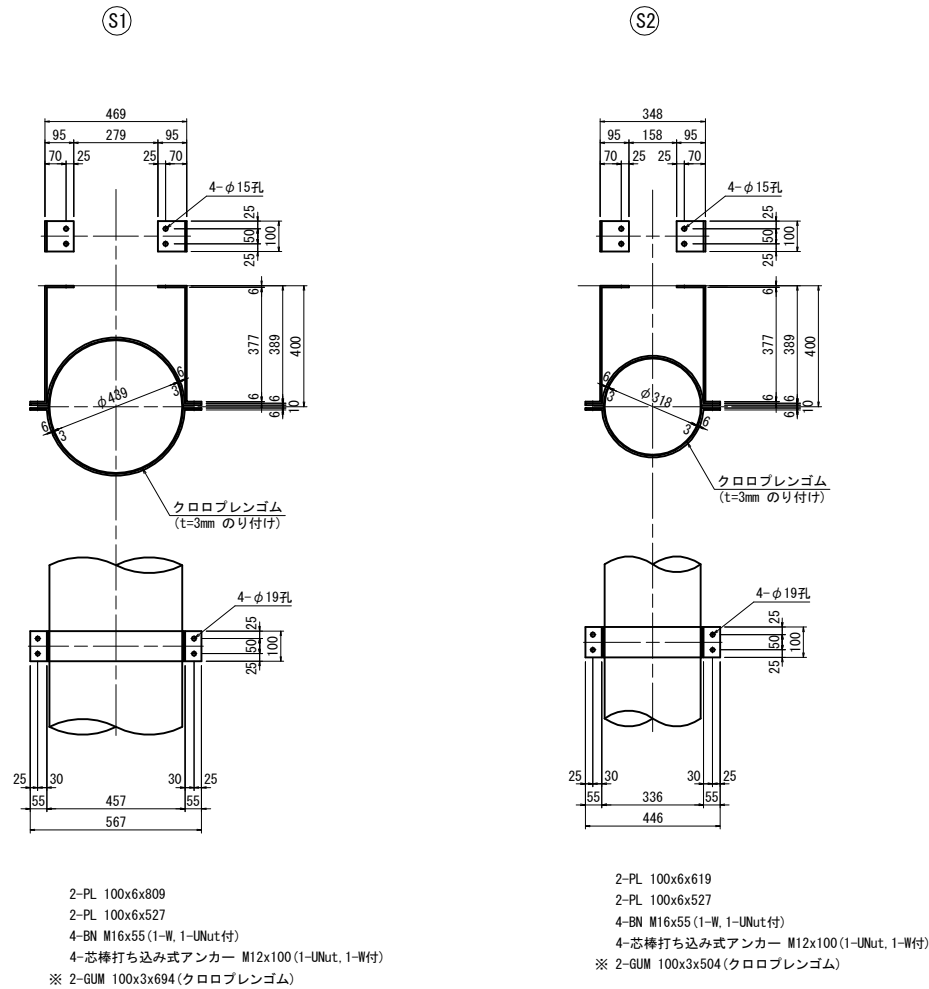
P44橋脚 材料表		
	記号	数量
直管	1	1
チーズ管	T1	1
曲管	R1	1
レジャーサー	LE1	1
90° エルボ		1
支持金具	S1	2
	S2	2
	S3	1

- 注)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - ※印以外の部材は、溶融亜鉛メッキを施す。
付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット類及び板厚6mm未満の部材は、HDZT49とする。
 - ナットは全て、ゆるみ止めナットを使用すること。

首都圏中央連絡自動車道 つくば牛久I C～牛久阿見I C間附帯工工事			
図面の種類	橋梁排水		
	下部工排水装置組立図(6) (Ⅱ期線)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 横河ブリッジ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工 事務所		

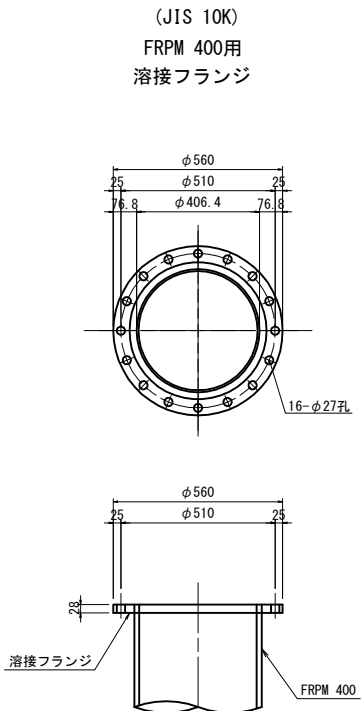
下部工排水装置組立図（7） S=1:25
（Ⅱ期線）

支持金具詳細

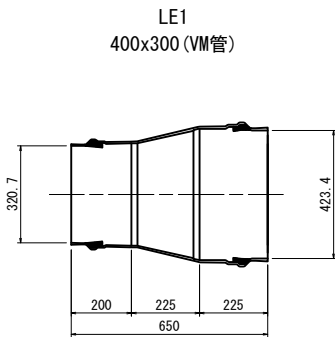


P44橋脚

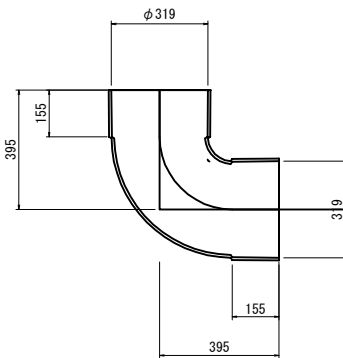
フランジ詳細



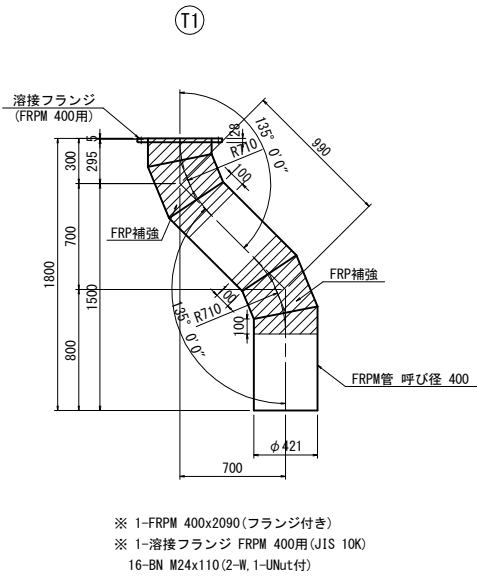
レジャーサー詳細



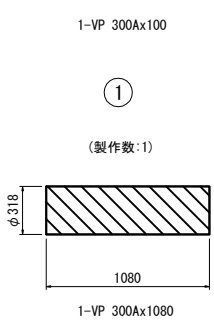
90° エルボ詳細



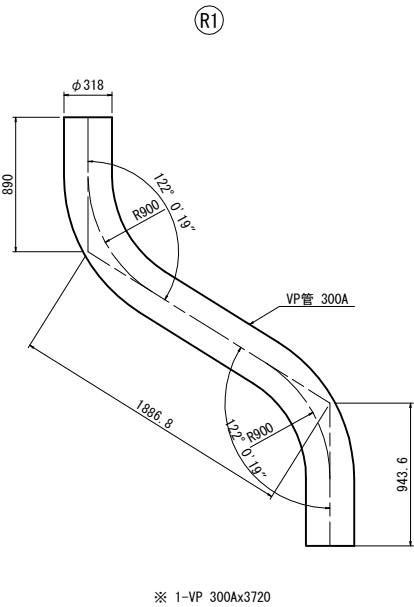
チーズ管詳細 S= 1:50



直管詳細 S= 1:50



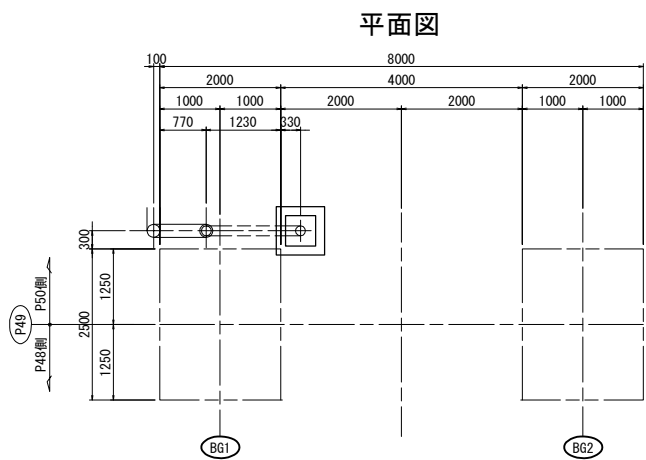
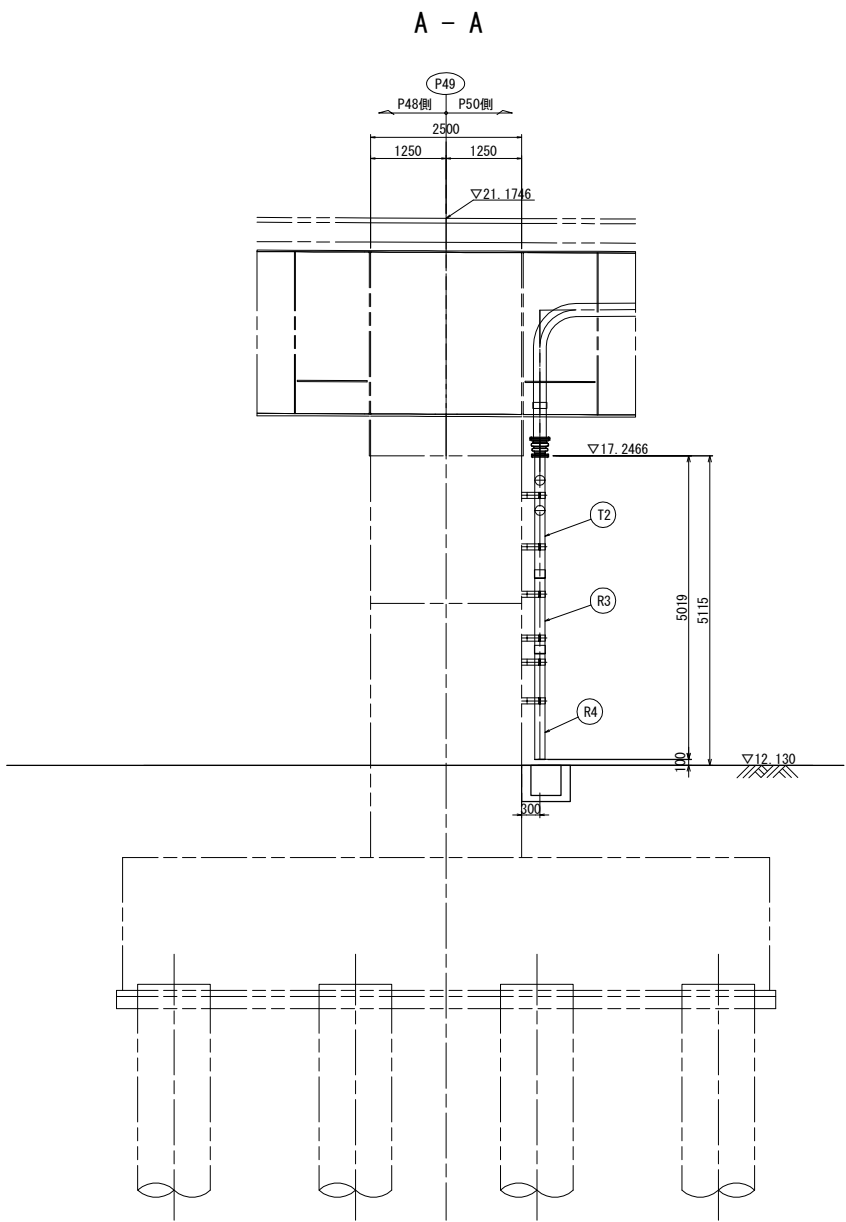
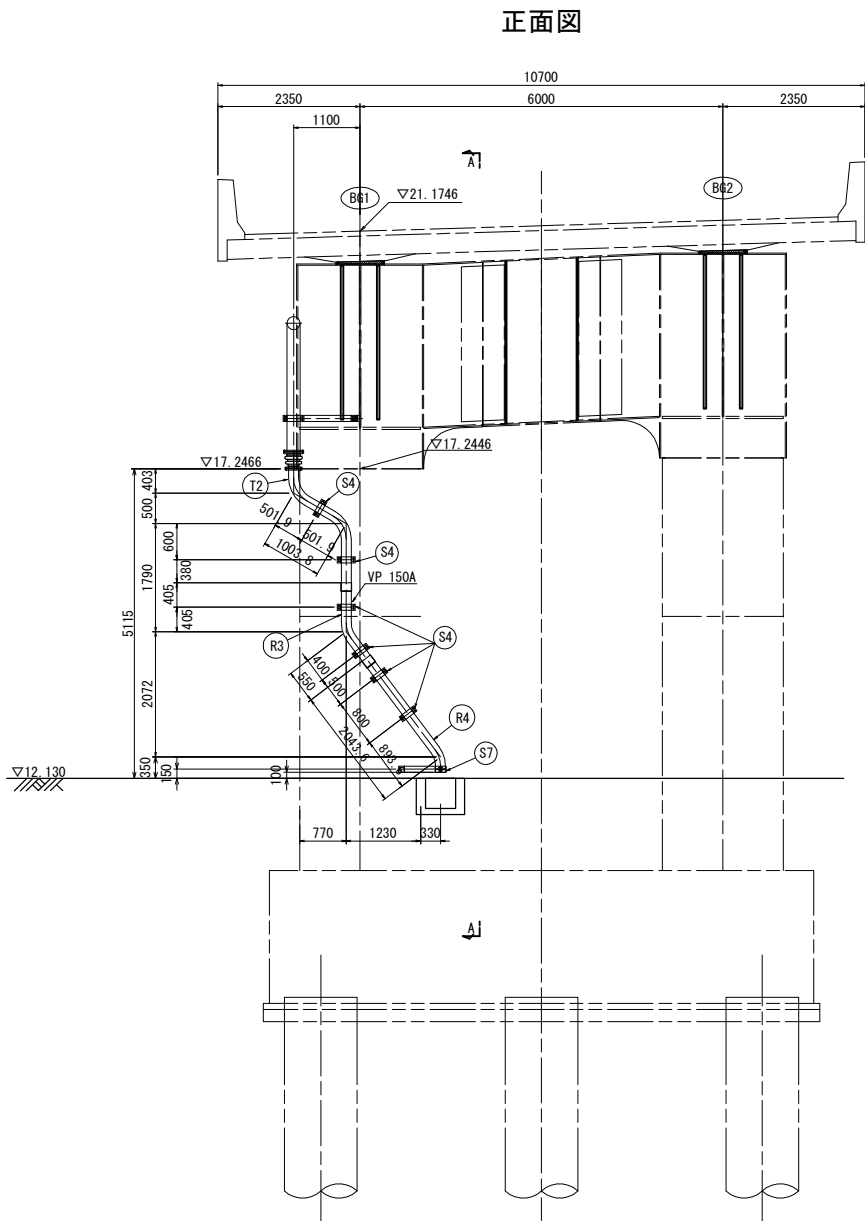
曲管詳細 S= 1:50



- 注)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - ※印以外の部材は、溶融亜鉛メッキを施す。
付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット類及び板厚6mm未満の部材は、HDZT49とする。
 - ナットは全て、ゆるみ止めナットを使用すること。

首都圏中央連絡自動車道 つくば牛久I C～牛久阿見I C間附帯工工事			
図面の種類	橋梁排水 下部工排水装置組立図(7) (Ⅱ期線)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 横河ブリッジ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事務所		

下部工排水装置組立図(8) S=1:125
(Ⅱ期線)
P49橋脚



数量表

項 目	名 称	単 位	数 量	摘 要
復旧工	下部工排水 P 4 9	箇所	1	Ⅱ期線

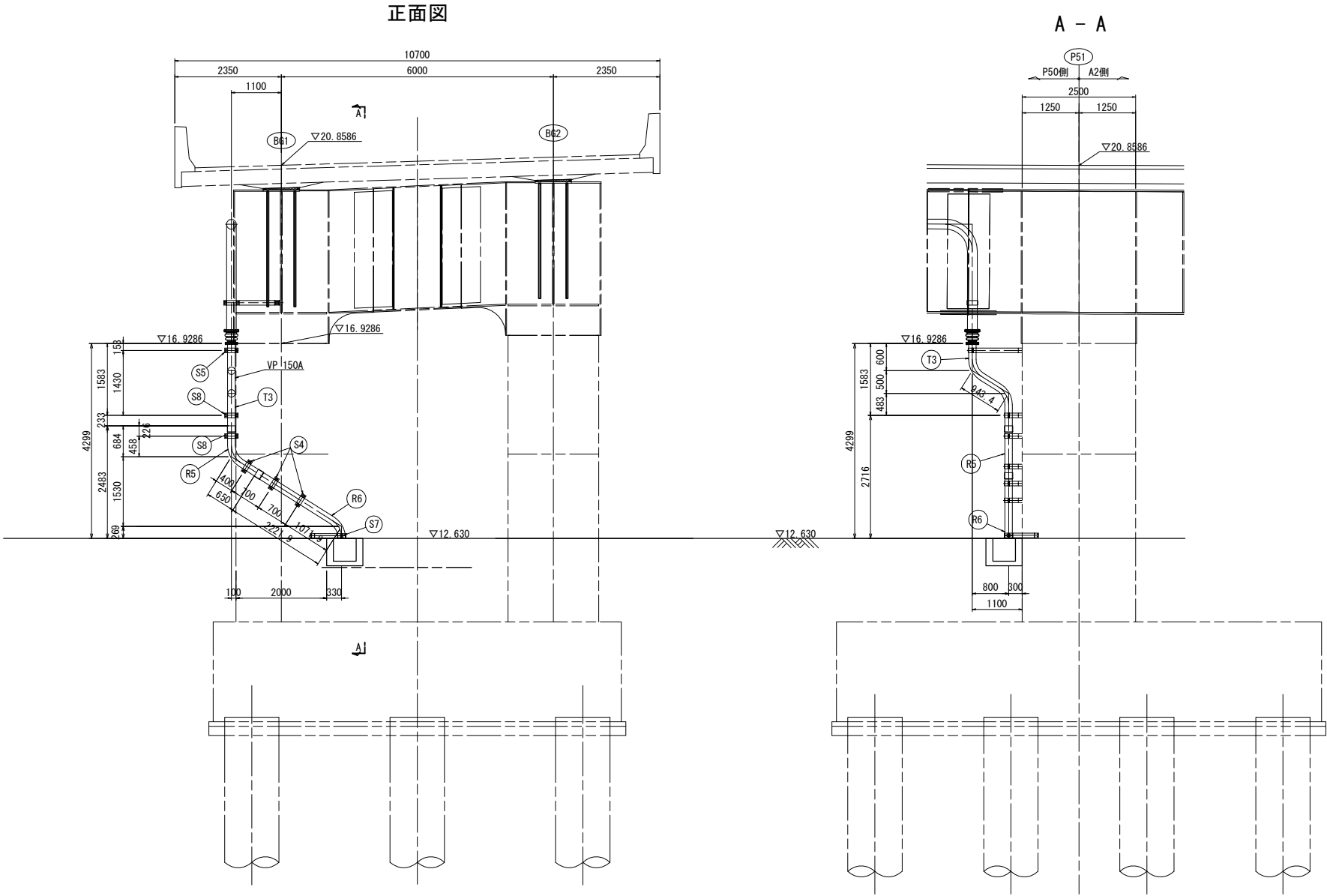
P49橋脚部 材料表

	記号	数量
チーズ管	T2	1
曲管	R3	1
	R4	1
支持金具詳細	S4	6
	S7	1

- 注)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - ※印以外の部材は、溶融亜鉛メッキを施す。
付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット類及び板厚6mm未満の部材は、HDZT49とする。
 - ナットは全て、ゆるみ止めナットを使用すること。

首都圏中央連絡自動車道 つくば牛久IC～牛久阿見IC間附帯工事			
図面の種類	橋梁排水 下部工排水装置組立図(8) (Ⅱ期線)		
	縮 尺	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横河ブリッジ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工務事務所		

下部工排水装置組立図(9) S=1:125
(Ⅱ期線)
P51橋脚



数量表				
項 目	名 称	単 位	数 量	摘 要
復旧工	下部工排水 P 5 1	箇所	1	Ⅱ期線

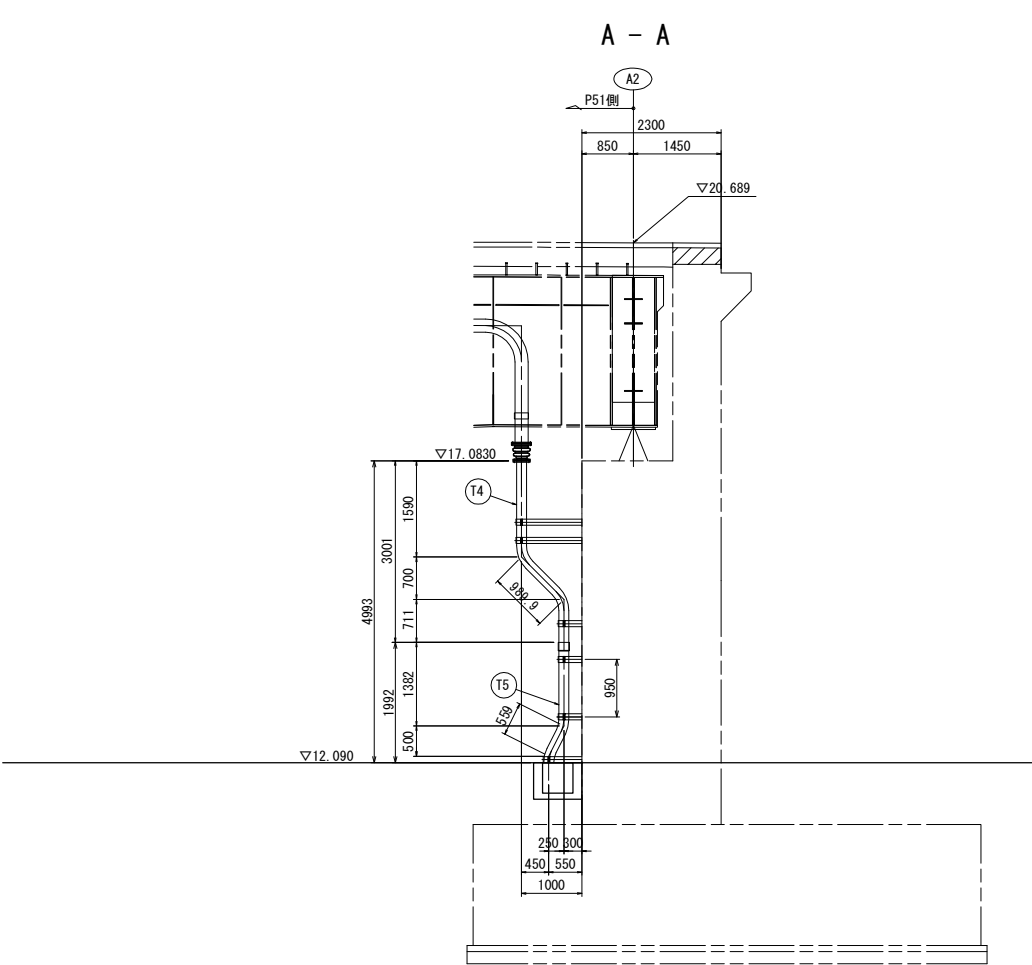
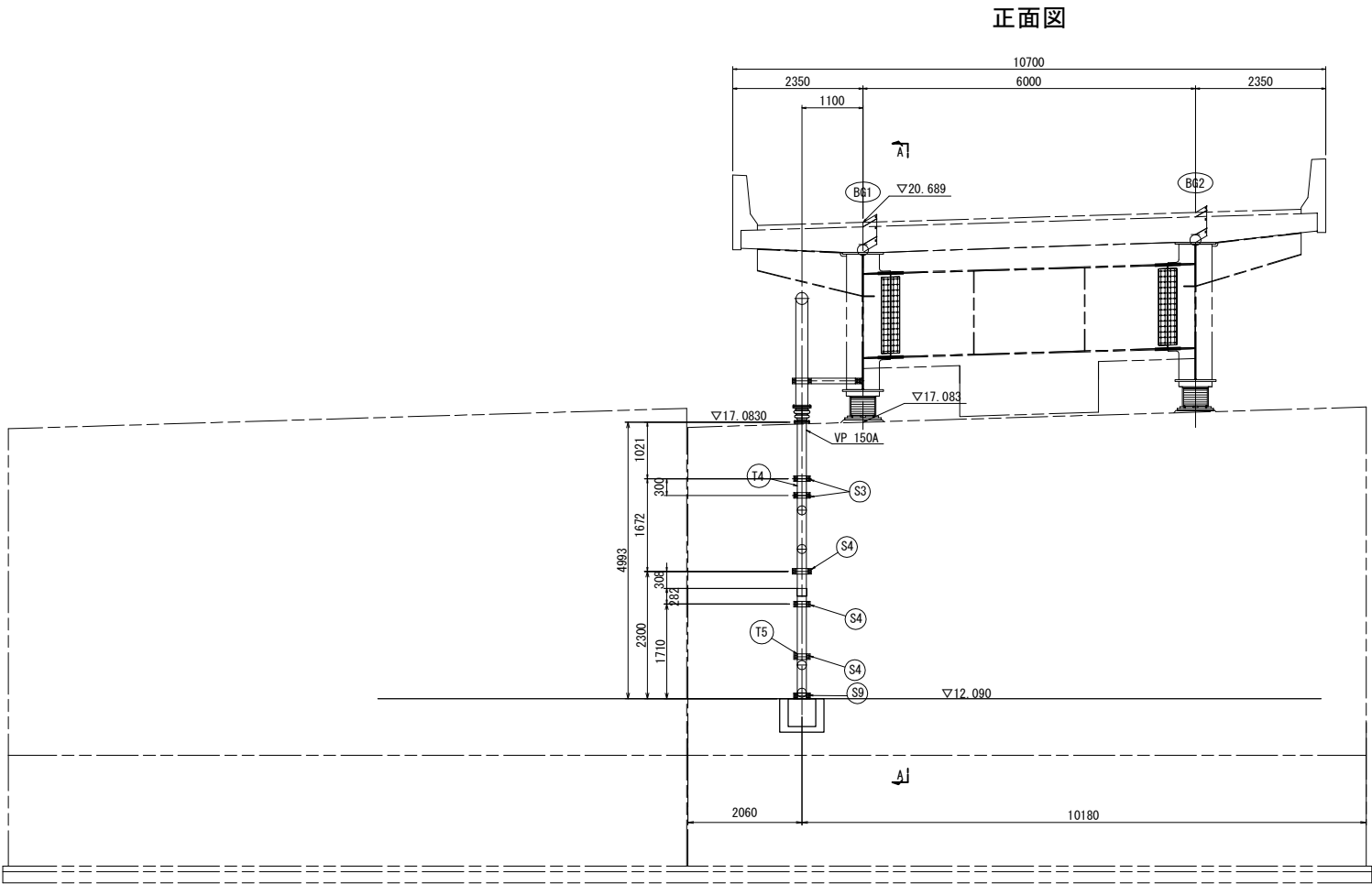
P51橋脚部 材料表		
	記号	数量
チーズ管	T3	1
曲管	R5	1
	R6	1
支持金具詳細	S4	3
	S5	1
	S7	1
	S8	2

- 注)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - ※印以外の部材は、溶融亜鉛メッキを施す。
付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット類及び板厚6mm未満の部材は、HDZT49とする。
 - ナットは全て、ゆるみ止めナットを使用すること。

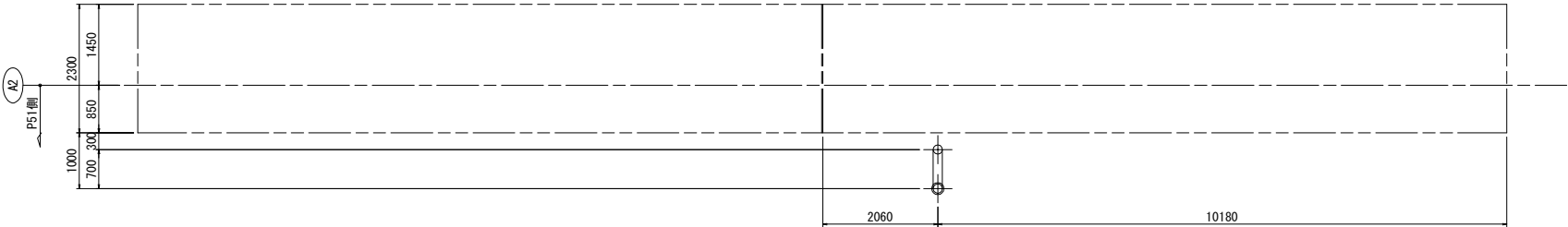
首都圏中央連絡自動車道 つくば牛久I C～牛久阿見I C間附帯工事			
図面の種類	橋梁排水		
	下部工排水装置組立図(9) (Ⅱ期線)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横河ブリッジ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工務事務所		

下部工排水装置組立図(10)
(Ⅱ期線)
A2橋台

S=1:125



平面図



数量表

項 目	名 称	単 位	数 量	摘 要
復旧工	下部工排水 A 2	箇所	1	I 期線及び II 期線

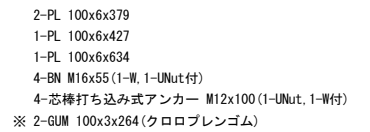
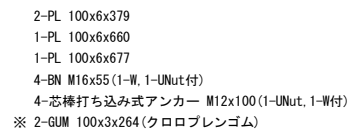
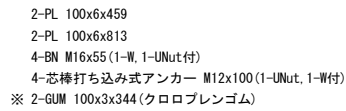
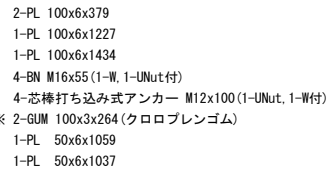
A2橋台部 材料表

	記号	数量
チーズ管	T4	1
	T5	1
支持金具詳細	S3	2
	S4	2
	S9	1

- 注)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - ※印以外の部材は、溶融亜鉛メッキを施す。
付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット類及び板厚6mm未満の部材は、HDZT49とする。
 - ナットは全て、ゆるみ止めナットを使用すること。

首都圏中央連絡自動車道 つくば牛久 I C～牛久阿見 I C間附帯工工事			
図面の種類	橋梁排水 下部工排水装置組立図 (10) (Ⅱ期線)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横河ブリッジ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工 事 務 所		

(支持金具詳細)

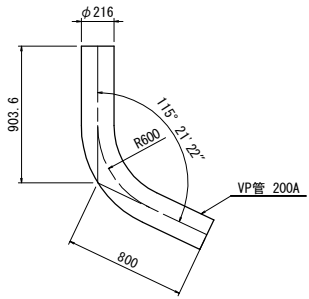


- 注)
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
 2. ※印以外の部材は、溶融亜鉛メッキを施す。
付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット類及び板厚6mm未満の部材は、HDZT49とする。
 3. ナットは全て、ゆるみ止めナットを使用すること。

首都圏中央連絡自動車道			
つくば牛久・C〜牛久阿見・C間附帯工事			
橋梁排水			
図面の種類	下部工排水装置組立図 (12) (支持金具詳細)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横河ブリッジ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事業務所		

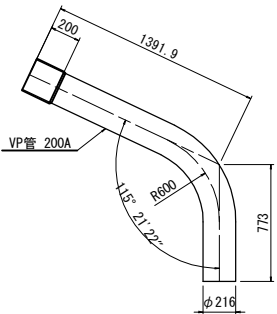
下部工排水装置組立図(13) S=1:50
(曲管詳細)

R1



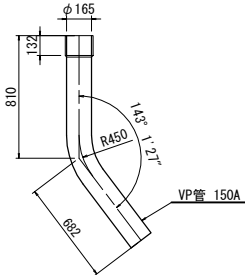
※ 1-VP 200Ax1704

R2



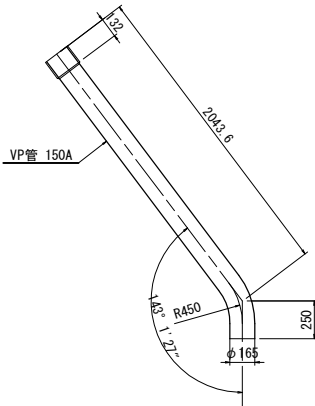
※ 1-VP 200Ax2165(スリーブ付き)

R3



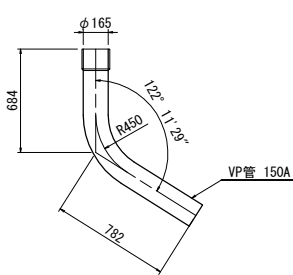
※ 1-VP 150Ax1492(スリーブ付き)

R4



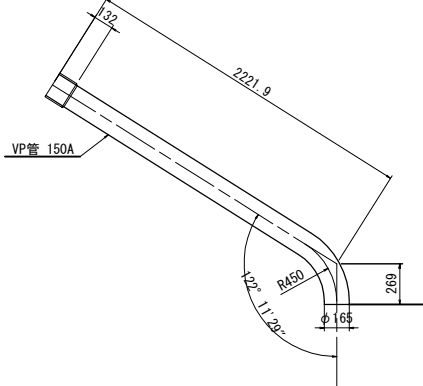
※ 1-VP 150Ax2744(スリーブ付き)

R5



※ 1-VP 150Ax1466(スリーブ付き)

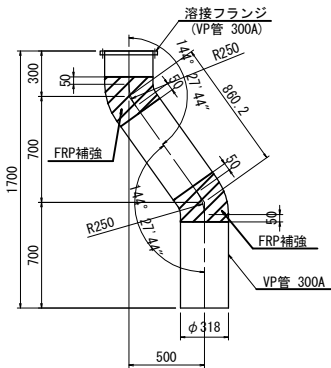
R6



※ 1-VP 150Ax3031(スリーブ付き)

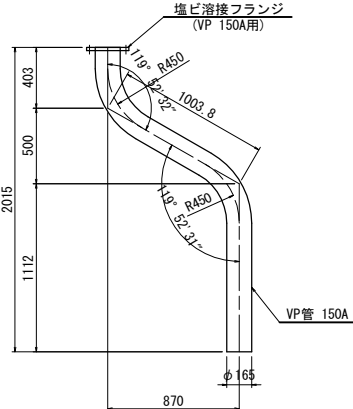
チーズ管詳細

T1



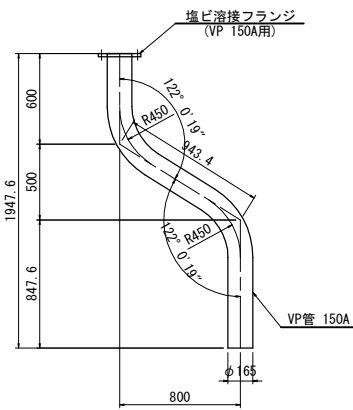
※ 1-VP 300x1860
※ 1-溶接フランジ VP 300A用(JIS 10K)
16-BN M22x95(2-W, 1-UNut付)

T2



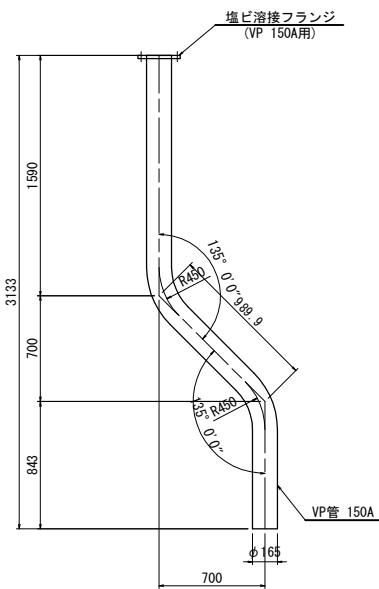
※ 1-VP 150x2519
※ 2-フランジ(150A用)(PVC)
※ 1-ゴムパッキン(150A用)
8-BN M20x85(2-W付)(SUS304)

T3



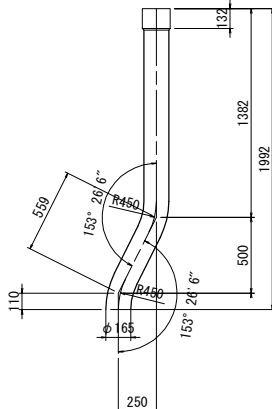
※ 1-VP 150x2391
※ 2-フランジ(150A用)(PVC)
※ 1-ゴムパッキン(150A用)
8-BN M20x85(2-W付)(SUS304)

T4



※ 1-VP 150x3423
※ 2-フランジ(150A用)(PVC)
※ 1-ゴムパッキン(150A用)
8-BN M20x85(2-W付)(SUS304)

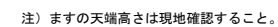
T5

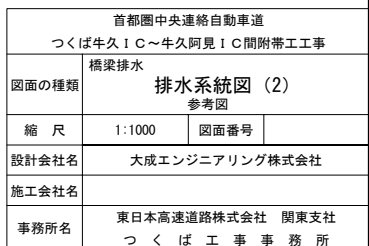


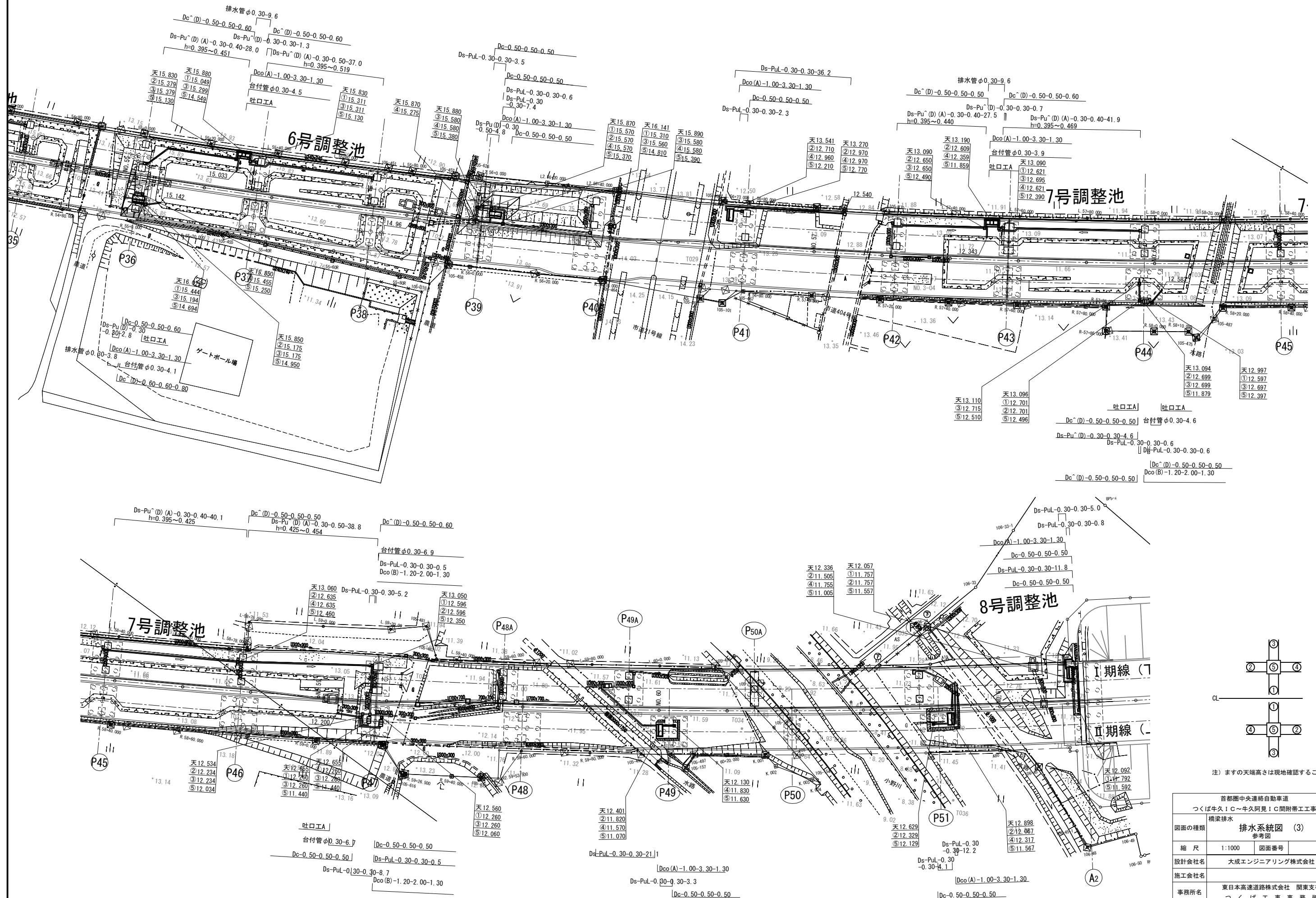
※ 1-VP 150Ax2341(スリーブ付き)

- 注)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - ※印以外の部材は、溶融亜鉛メッキを施す。
付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット類及び板厚6mm未満の部材は、HDZT49とする。
 - ナットは全て、ゆるみ止めナットを使用すること。

首都圏中央連絡自動車道 つくば牛久I C～牛久阿見I C間附帯工工事			
図面の種類	橋梁排水		
	下部工排水装置組立図(13) (曲管詳細)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 横河ブリッジ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工 事務所		

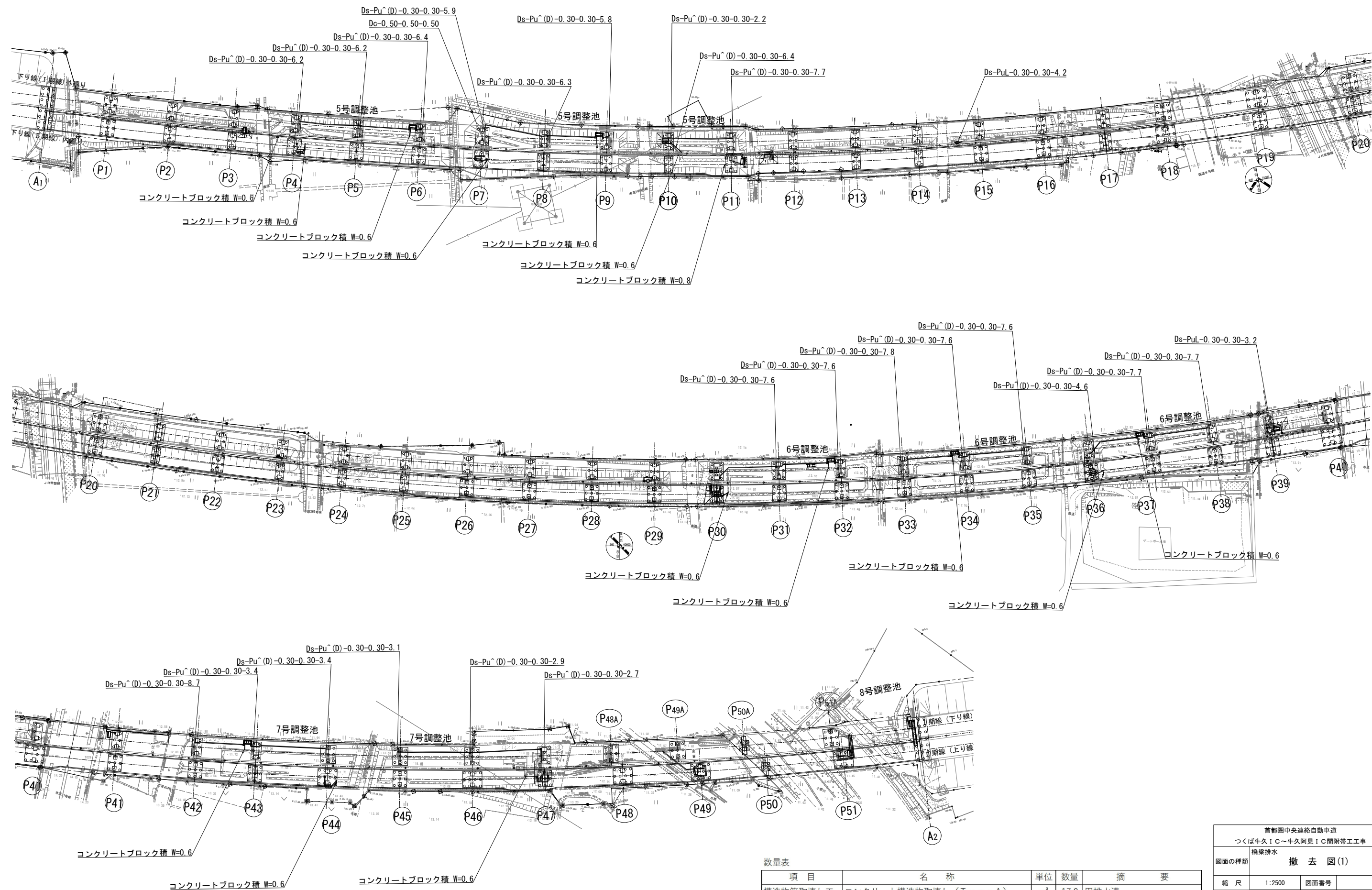






注) ますの天端高さは現地確認すること。

首都圏中央連絡自動車道 つくば牛久1C～牛久阿見1C間附帯工工事	
橋梁排水	
図面の種類	排水系統図 (3)
縮尺	1:1000 図面番号
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社
事務所名	つくば工務事務所



数量表

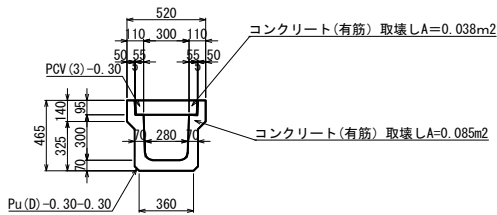
項目	名称	単位	数量	摘要
構造物等取壊し工	コンクリート構造物取壊し (Type A)	m ³	17.0	用排水溝
構造物等取壊し工	コンクリート構造物取壊し (Type B)	m ³	5.0	コンクリートブロック積・集水ます

首都圏中央連絡自動車道 つくば牛久1C～牛久阿見1C間附帯工工事	橋梁排水		
図面の種類	撤去図 (1)		
縮尺	1:2500	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 つくば工事事務所		

撤去図(2)

Ds-Pu^(D)-0.30-0.30

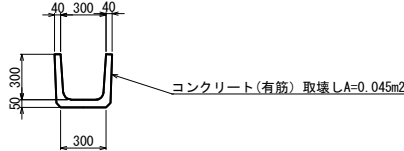
コンクリート取壊し TypeA



材料表					10m当り
項 目	細 目	単 位	数 量	摘 要	
Ds-Pu^(D)-0.30-0.30	有筋 TypeA	m3	1.23		

Ds-PuL-0.30-0.30

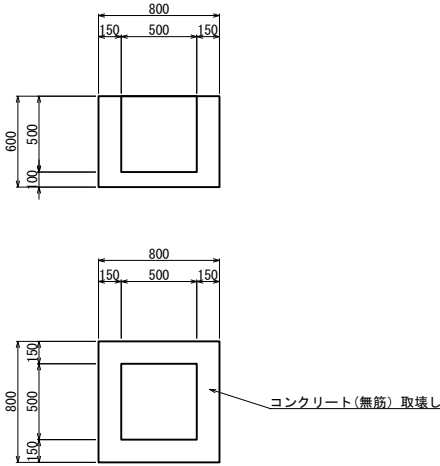
コンクリート取壊し TypeA



材料表					10m当り
項 目	細 目	単 位	数 量	摘 要	
Ds-PuL-0.30-0.30	有筋 TypeA	m3	0.45		

Dc-0.50-0.50-0.50

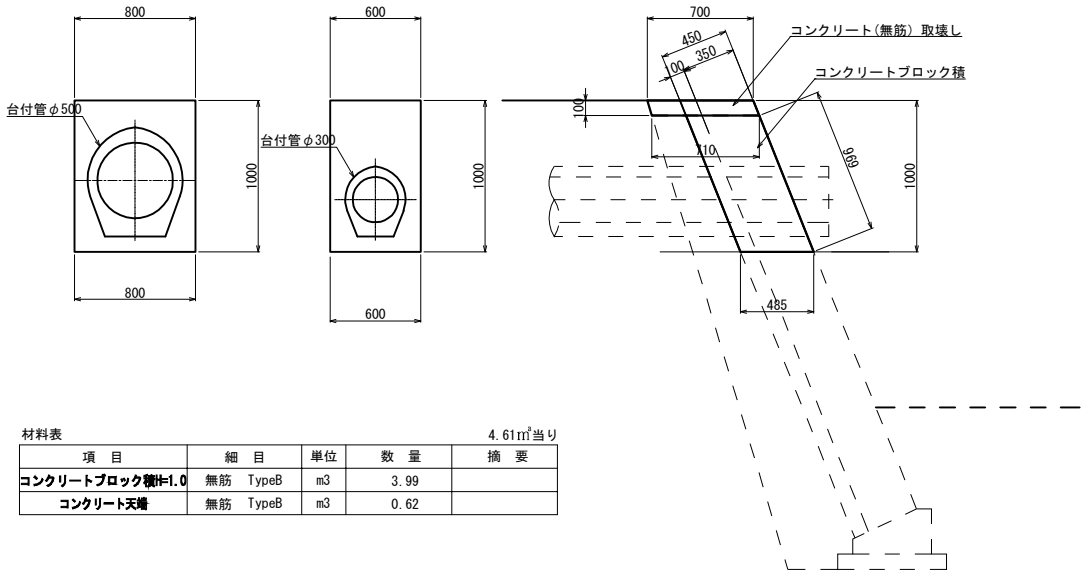
コンクリート取壊し TypeB



材料表					10個当り
項 目	細 目	単 位	数 量	摘 要	
Dc-0.50-0.50-0.50	無筋 TypeB	m3	3.90		

コンクリートブロック積H=1.0

コンクリート取壊し TypeB



材料表					4.61m³当り
項 目	細 目	単 位	数 量	摘 要	
コンクリートブロック積H=1.0	無筋 TypeB	m3	3.99		
コンクリート天端	無筋 TypeB	m3	0.62		

首都圏中央連絡自動車道			
つくば牛久I C～牛久阿見I C間附帯工事			
図面の種類	橋梁排水		
	撤去図(2)		
縮 尺	1:50	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	つくば工事事務所		